

令和7年度 地下鉄事業の現況



目次

	頁
東京地下鉄株式会社	1 (路線図 9)
大阪市高速電気軌道株式会社	11 (路線図 19)
札幌市	21 (路線図 27)
仙台市	29 (路線図 35)
東京都	37 (路線図 43)
横浜市	45 (路線図 51)
名古屋市	53 (路線図 59)
京都市	61 (路線図 67)
神戸市	69 (路線図 75)
福岡市	77 (路線図 83)
埼玉高速鉄道株式会社	85 (路線図 91)
広島高速交通株式会社	93 (路線図 99)
横浜高速鉄道株式会社	101 (路線図 107)
東葉高速鉄道株式会社	109 (路線図 115)
北総鉄道株式会社	117 (路線図 123)
地下鉄関係等国の予算	125
資料	135

(注)

1. この「地下鉄事業の現況(令和7年度)」は、東京地下鉄(株)・大阪市高速電気軌道(株)・公営地下鉄事業者等・国土交通省・総務省の資料を基に編集したものです。
2. 記載の各情報は、原則当該の年度末を基本としています。ただし特記あるものを除きます。

東京地下鉄株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路 線 別	延 長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
銀 座 線	浅 草 ～ 渋谷	キロ 14.3		昭 和 14 年 9 月 全 通		—	—	—	—	—	—
丸 ノ 内 線	池 袋 ～ 荻 窪 中野坂上～方南町	27.4	482	昭 和 37 年 3 月 全 通		—	482	18	—	—	—
日 比 谷 線	北 千 住 ～ 中 目 黒	21.1	671	昭 和 39 年 8 月 全 通		—	671	32	—	—	—
東 西 線	中 野 ～ 西 船 橋	31.8	1,319	昭 和 44 年 3 月 全 通		—	1,319	41	—	—	—
千 代 田 線	北綾瀬～代々木上原	23.0	1,592	昭 和 54 年 12 月 全 通		—	1,592	69	—	—	—
有 楽 町 線	和 光 市 ～ 新 木 場	29.4	4,920	昭 和 63 年 6 月 開 通		—	4,920	167	—	—	—
	豊 洲 ～ 住 吉	4.8	—	非 公 表	非公表	非公表	約2,690	560	非公表	非公表	非公表
半 蔵 門 線	渋谷 ～ 押 上	17.0	4,338	平 成 15 年 3 月 全 通		—	4,338	255	—	—	—
南 北 線	目 黒 ～ 赤 羽 岩 淵	21.4	5,376	平 成 12 年 9 月 開 通		—	5,604	262	—	—	—
	品 川 ～ 白 金 高 輪	2.5	—	非 公 表	非公表	非公表	約1,310	524	非公表	非公表	非公表
副 都 心 線	小 竹 向 原 ～ 渋谷	8.9	2,517	平 成 20 年 6 月 全 通		—	2,517	282	—	—	—
合 計		201.6	21,215				21,443	—	—	—	—

(注) 1. 副都心線建設費総額には、道路特定財源を含む。

(注) 2. 建設費総額の合計には、新線は含まない。

2. 令和7年度事業計画

2ー(1)新線

路 線 名	予算額	事業内容	免・特許年月日	施行認可年月日
有 楽 町 線	百万円			
	非公表	非公表	令和4年3月28日	令和6年10月28日
南 北 線	非公表	非公表	令和4年3月28日	令和6年6月21日
合計	非公表			

2ー(2)営業線

(税抜き)

項 目	予算額	事業内容
鉄 道 事 業	百万円	
	77,030	旅客サービスその他、安全対策
都市・生活創造事業	28,812	不動産、ライフ・ビジネスサービス
そ の 他		
合 計	105,842	

2-(3) 建設計画

【建設線】

(単位:億万円)

区分 路線名	有 楽 町 線	南 北 線
区 間	豊 洲 ～ 住 吉	品 川 ～ 白 金 高 輪
建 設 キ ロ	4.8 キロ	2.5 キロ
着 工 年 度	2024 年度	2024 年度
開 通 年 度	2030年代半ば	2030年代半ば
建 設 費	約2,690	約1,310
キ ロ 当 り 費	約560	約524

◎工事路線の略図



3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅 数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備 考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人	年間 百万人キロ	年間 千円	1日平均 千円		
令 和 2 年 度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,750	1,819,488	4,985	14,944	223,928,658	613,503	10	
令 和 3 年 度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,736	1,903,783	5,216	15,601	245,092,605	671,487	10	
令 和 4 年 度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,722	2,171,910	5,950	17,673	281,364,993	770,862	10	
令 和 5 年 度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,724	2,384,731	6,516	19,305	324,009,327	885,271	10	
令 和 6 年 度	195.0	26.4	9	180 (143)	2,708	2,495,750	6,838	20,160	339,366,240	929,770	10	
令 和 7 年 度 定	195.0	26.4	9	180 (143)	2,698	—	—	—	—	—	10	

(注):()内は同一駅名を1駅とした場合の駅数(他鉄道委託駅を含む)

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相 互 (片) 乗 入 事 業 者		自 社 線 内 乗 入 キロ 数	他 社 線 内 乗 入 キロ 数
日 比 谷 線	東 武 鉄 道	キロ 20.3	キロ 44.4
東 西 線	JR (中 央 線)	30.8	9.4
	JR (総 武 線)	30.8	6.1
	東 葉 高 速 鉄 道	30.8	16.2
千 代 田 線	JR (常 磐 線)	21.9	29.7
	小 田 急 電 鉄	24.0	59.3
有 楽 町 線	西 武 鉄 道	20.0	40.3
	東 武 鉄 道	28.3	40.1
半 蔵 門 線	東 急 電 鉄	16.8	31.5
	東 武 鉄 道	16.8	56.9
南 北 線	東 急 電 鉄	21.3	17.7
	埼 玉 高 速 鉄 道	21.3	14.6
副 都 心 線	西 武 鉄 道	11.9	40.3
	東 武 鉄 道	20.2	51.6
	東 急 電 鉄	20.2	24.2
	横 浜 高 速 鉄 道	20.2	4.1
合 計		—	361.6

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (KV)		60/22/6	60/22/6	60/22/6
受 電 個 所 数		55	55	56
使 用 電 力 量 (MWh)	電 車 用	527,481	528,340	526,867
	付 帯 用	345,536	349,545	354,247
	計	873,017	877,885	881,114
電 気 料 金 (百 万 円)		—	—	—

(表4 注)【相互乗入れ運転】
他社線内乗入れキロ数合計については、東武スカイツリーライン
經由日光線北千住～南栗橋間、東武東上線と光市～森林公園
間、西武有楽町線・池袋線小竹向原～飯能間は、東京メトロの複数
路線が乗り入れているため、重複区間を除き算出。

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エスカレーター		1,039 箇所	1,043 箇所
エレベーター		410 箇所	410 箇所
身 障 者 用	ト イ レ	206 箇所	206 箇所
	点 字 券 売 機	1,008 箇所	1,008 箇所
	斜 路	53 箇所 28 駅	53 箇所 28 駅
	チャイム等	350 箇所 1,039 箇所	563 箇所 1,043 箇所
	そ の 他	—	—
基準適合段差解消駅		139 駅	139 駅
自 転 車 置 場	設置駅数	17 駅	16 駅
	収容台数	17,541 台	18,144 台

(注)

1. 鉄道委託駅を含む
2. チャイム等は音声案内装置付エスカレーター台数
(音声案内付台数/エスカレーター総数)
3. 自転車置き場については、自治体による近隣施設
の数
4. 「基準適合段差解消駅」とは、「高齢者、障害者等
の移動等の円滑化の促進に関する法律」第8条第
1項に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条に
適合し、開閉とびらに窓があり、かご内に手すり等
が設置されているエレベーターなどにより、乗降場
ごとに、段差が解消された経路を1以上確保して
いる駅をいう。

7. 営業線の概要

線名 項目		銀座線		丸ノ内線			日比谷線			東西線		千代田線			
線 区 概 要	営 業 区 間	浅草～渋谷		池袋～荻窪		中野板上 ～方南町	北千住～中目黒			中野～西船橋		北綾瀬 ～綾瀬	綾瀬～代々木上原		
	営 業 キ ロ (k m)	14.2		24.2		3.2	20.3			30.8		2.1	21.9		
	(地 上 部)	(0.2)		(2.2)		(0)	(2.9)			(13.8)		(2.1)	(2.9)		
	駅 数 (駅)	19		25		3	22			23		1	19		
	ホ ー ム ド ア (柵) 設 置 駅 数 (駅)	19		25		3	22			12		1	19		
軌 間・ 電 気	軌 間 (m)	1.435		1.435			1.067			1.067		1.067			
	電 気 方 式 (V)	直流600		直流600			直流1,500			直流1,500		直流1,500			
	集 電 方 式	サードレール		サードレール			架空線			架空線		架空線			
車 両	保 有 車 両 (車 両)	240		312			308			520		398			
	(電 動 車 両)	(240)		(263)			(308)			(234)		(166)			
	車 両 長 (m)	16		18			20			20		20			
	定 員 (人)	93,106		122,124,136,137			140,151			139,141,142,143,146, 152,153,154,155		136,142,143,144,154			
保 安 装 置	ATS ・ ATC	連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC			連続誘導式CS-ATC			連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC			
	列 車 通 信	空間波無線式		空間波無線式			空間波無線式			誘導無線式 空間波無線式		空間波無線式			
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	6		6			7			10		3・10	10		
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒)	浅草 ↘ 上野	上野 ↗ 渋谷	池袋 ↘ 中野板上	中野板上 ↗ 荻窪	中野板上 ↘ 方南町	北千住 ↘ 霞ヶ関	霞ヶ関 ↗ 六本木	六本木 ↘ 中目黒	中野 ↘ 東陽町	東陽町 ↗ 西船橋	北綾瀬 ↘ 綾瀬	綾瀬 ↗ 霞ヶ関	霞ヶ関 ↘ 明治神宮前	明治神宮前 ↗ 代々木上原
	(平 日)	上野		中野板上		方南町	霞ヶ関		中目黒	東陽町		綾瀬		明治神宮前	代々木上原
	朝 混 雑 時	2.30	2.20	2.05	3.10	5.30	2.15		2.40	2.40	通勤 6.00 普通 3.35	7.30	2.05		2.40
	昼 間 時	4.00		5.00	6.00	8.35	5.00			5.00	快速 15.00 普通 7.30	10.00	5.00		
	夕 混 雑 時	2.25		2.30	3.20	6.40	2.30			3.00	快速 10.00 普通 4.40	7.30	3.00	3.20	4.00
	運 転 所 要 時 間 (分 ・ 秒)	33.00		49.40		6.25	45.00			快速 44.15 普通 52.10		4.00	39.30		
	平 均 速 度 (k m / h)	34.1		37.4		34.9	33.9			快速 49.4 普通 43.7		31.5	42.2		
表 定 速 度 (k m / h)		25.8		29.2		29.9	27.1			快速 41.8 普通 35.4		31.5	34.4		
最 高 速 度 (k m / h)		65.0		75.0		65.0	80.0			快速 100.0 普通 100.0		60.0	80.0		
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		987		1,260			1,134			1,304		1,176			
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		1,308		2,345			2,173			4,145		3,151			

(令和7年4月1日現在)

7. 営業線の概要

線名 項目		有楽町線			副都心線					半蔵門線		南北線			
線区概要	営業区間	和光市～新木場			小竹向原～渋谷					渋谷～押上		目黒～赤羽岩淵			
	営業キロ（km）	28.3			11.9					16.8		21.3			
	（地上部）	(2.3)			(0)					(0)		(0)			
	駅数（駅）	24			11					14		19			
軌間・電気	ホームドア（柵）設置駅数（駅）	24			11					11		19			
	軌間（m）	1,067			1,067					1,067		1,067			
	電気方式（V）	直流1,500			直流1,500					直流1,500		直流1,500			
車両	集電方式	架空線			架空線					架空線		架空線			
	保有車両（車両）	550								240		140			
	（電動車両）	(269)								(114)		(82)			
	車両長（m）	20								20		20			
	定員（人）	136,143,144,154								136,141,142,144,150,152,153		140,141,150,151,152,153			
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式CS-ATC			連続誘導式CS-ATC					連続誘導式CS-ATC		連続誘導式CS-ATC			
	列車通信	空間波無線式			空間波無線式					空間波無線式		空間波無線式			
運転概要	編成両数（両）	10			8・10					10		6・8			
	運転間隔（分・秒）	和光市 〃 小竹向原	小竹向原 〃 池袋	池袋 〃 新木場	和光市 〃 小竹向原	小竹向原 〃 千川	千川 〃 池袋	池袋 〃 新宿三丁目	新宿三丁目 〃 渋谷	渋谷 〃 清澄白河	清澄白河 〃 押上	目黒 〃 白金高輪		白金高輪 〃 赤羽岩淵	
	（平日）	小竹向原	池袋	新木場	小竹向原	千川	池袋	新宿三丁目	渋谷	清澄白河	押上	白金高輪		赤羽岩淵	
	朝混雑時	4.40	2.55	2.40	通急 15.00 各停 8.35	急行・通急 7.30 各停 6.40	急行・通急 7.30 各停 6.00	急行・通急 7.30 各停 3.45		2.15	3.20	自社 東京都	5.00 5.30	2.40	3.10
	昼間時	10.00	6.00		急行 30.00 各停 10.00	急行 15.00 各停 7.30		急行 15.00 各停 6.00		5.00		自社 東京都	10.00 10.00	5.00	6.00
	夕混雑時	6.00	3.45		通急 30.00 各停 8.35	急行・通急 15.00 各停 6.40			急行・通急 15.00 各停 5.00	3.00		自社 東京都	6.00 10.00	3.45	5.00
	運転所要時間(分・秒)	51.10			急行 9.10 各停 12.10	急行 16.15 各停 22.25				31.30		39.15			
	平均速度（km/h）	41.3			急行 54.3 各停 47.4		急行 49.0 各停 40.2			39.0		40.6			
表定速度（km/h）	33.2			急行 54.3 各停 40.9		急行 43.9 各停 31.9			32.0		32.6				
最高速度（km/h）	80.0			急行 80.0 各停 80.0		急行 80.0 各停 80.0			80.0		80.0				
令和6年度1日当り 平均輸送人員（千人）		1,046			556					973		518			
令和6年度路線別 輸送人キロ（百万人キロ）		2,782			1,217					1,854		1,186			



大阪市高速電気軌道株式会社

大阪市高速
電気軌道

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路 線 別		延 長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当たり 建設費	建設費財源		
										企業債	出資金	その他
御 堂 筋 線	江 坂 ～ 中 百 舌 鳥	25.1	1,709	昭 和 62 年 4 月 18 日 全 通				1,709	68	1,423	137	149
谷 町 線	大 日 ～ 八 尾 南	28.4	2,736	昭 和 58 年 2 月 8 日 全 通				2,736	96	2,435	235	66
四 つ 橋 線	西 梅 田 ～ 住 之 江 公 園	11.6	479	昭 和 47 年 11 月 9 日 全 通				479	41	438	12	29
中 央 線	大 阪 港 ～ 長 田	15.5	1,001	昭 和 60 年 4 月 5 日 全 通				1,001	65	875	58	68
千 日 前 線	野 田 阪 神 ～ 南 巽	12.9	927	昭 和 56 年 12 月 2 日 全 通				927	72	842	39	46
堺 筋 線	天 神 橋 筋 六 丁 目 ～ 動 物 園 前	7.7	442	昭 和 44 年 12 月 6 日 全 通				442	57	406	0	36
	動物園前～天下茶屋	1.7	686	平 成 5 年 3 月 4 日 開 通				686	404	500	100	86
長 堀 鶴 見 緑 地 線	京 橋 ～ 鶴 見 緑 地	5.6	1,108	平 成 2 年 3 月 20 日 開 通				1,108	198	924	104	80
	心 斎 橋 ～ 京 橋	5.5	1,524	平 成 8 年 12 月 11 日 開 通				1,524	277	494	290	740
	大 正 ～ 心 斎 橋	2.9	806	平 成 9 年 8 月 29 日 開 通				806	278	275	150	381
	鶴見緑地～門真南	1.3	232	平 成 9 年 8 月 29 日 開 通				232	178	94	29	109
今 里 筋 線	井 高 野 ～ 今 里	12.1	2,663	平 成 18 年 12 月 24 日 開 通				2,663	220	1,322	451	890
南 港 ポ ー ト タ ウ ン 線	中 ふ 頭 ～ 住 之 江 公 園	6.9	420	昭 和 56 年 3 月 16 日 全 通				420	61	185	46	189
合 計		137.2 (130.3)	14,733 (14,313)					14,733 (14,313)	— —	10,213 (10,028)	1,651 (1,605)	2,869 (2,680)

()内の数字は地下鉄だけの数値である。

平成17年7月1日より旧OTS線(大阪港～中ふ頭3.7km)を大阪市交通局の地下鉄・ニュートラムと一体的に運営している。

平成30年4月1日より、大阪市交通局は民営化され、大阪市高速電気軌道(株)に移行した。

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

路線名	予算額	事業内容	免・特許年月日	施行認可年月日
中央線	百万円 5,005	・ 停留場費 ・ 通信線路費 ・ 電力線路費 ・ 軌道費 等	2024年6月28日	—
合計	5,005			

2-2(2)営業線

(税抜き)

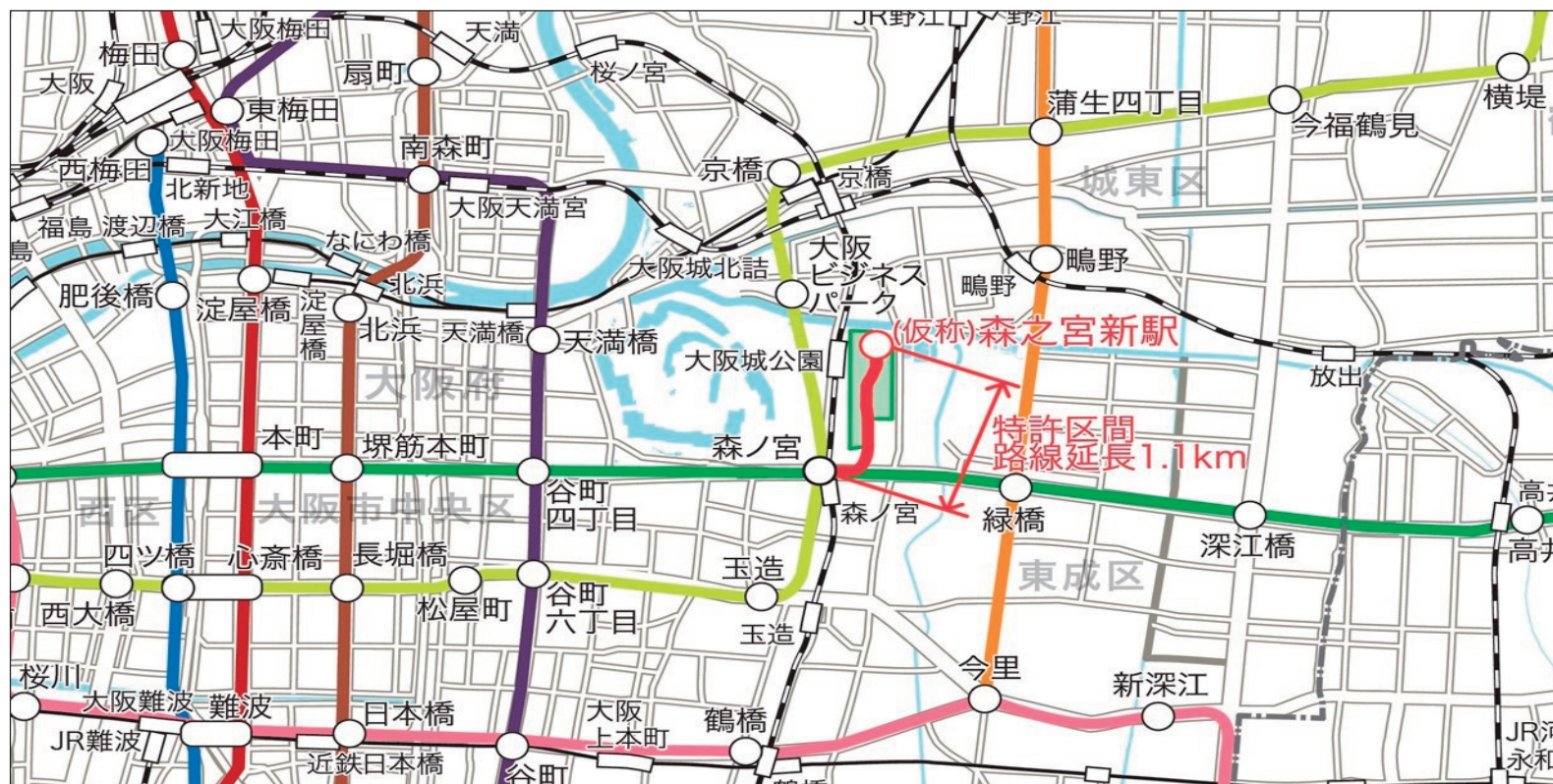
項目	予算額	事業内容
安全投資	百万円 —	—
サービス投資	—	—
その他	—	—
合計	—	

2-(3)建設計画

【建設線】

(単位: 億円)

路線名	区分	区 間	建 設 キ 口	着 工 年 度	開 通 年 度	建 設 費	キ 口 当 り 費
中 央 線		森ノ宮～(仮称)森之宮新駅	1.1キロ	2025年度(予定)	2028年度(予定)	約50.1	約45.5



3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数		保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地土部分		うち地下鉄			年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和2年度	キロ	キロ				両	千人	千人	百万人キロ	千円	千円	両	
	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,364 (1284)	665,148	1,822	3,933	106,514,792	291,821	10 (10)	(税抜)
令和3年度													
	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,354 (1274)	702,676	1,925	4,206	112,844,625	309,163	10 (10)	(税抜)
令和4年度													
	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,374 (1294)	808,809	2,216	4,842	131,168,890	359,367	10 (10)	(税抜)
令和5年度													
	137.8 (129.9)	22.8 (14.9)	9 (8)	133 [110]	123 [100]	1,374 (1294)	891,367	2,435	5,264	151,133,771	412,934	10 (10)	(税抜)
令和6年度													
	141.0 (133.1)	22.8 (14.9)	9 (8)	134 [111]	124 [101]	1,210 (1162)	934,990	2,562	5,486	159,574,289	437,190	10 (10)	(税抜)
令和7年度 予定													
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(注):()内は、ニュートラムを除いた数値、[]内は、同一駅名を1駅とした場合の駅数(他鉄道委託駅を含む)

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
御堂筋線	北大阪急行	24.5 キロ	8.4 キロ
中央線	近畿日本鉄道	21.1	18.8
堺筋線	阪急電鉄	8.5	58.2 (62.3)
合 計		54.1	82.9 (87.0)

※()内は臨時運行を含む

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (KV)		22	22	22
受 電 個 所 数		50	51	51
使用 電力量 (MWH)	電 車 用	249,479	250,523	273,967
	付 帯 用	184,369	181,312	181,779
	計	433,848	431,835	455,746
電 気 料 金 (百 万 円)		8,731	8,471	10,414

※電気料金は全て税込

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エスカレーター		381 箇所	386 箇所
エレベーター		355 箇所	363 箇所
身障者用	ト イ レ	217 箇所	220 箇所
	点 字 券 売 機	228 箇所 656 台	229 箇所 668 台
	斜 路	218 箇所 74 駅	218 箇所 74 駅
	チャイム等	464 箇所 121 駅	470 箇所 122 駅
その他		—	—
基準適合段差解消駅		133 駅	133 駅
自転車 置 場	設置駅数	— 駅	— 駅
	収容台数	— 台	— 台

※
 ・ホーム～地上のエレベータによるルート確保:全駅整備(22年度)
 ・地下鉄間乗換経路におけるエレベータによる ルート確保:全交差駅整備完了(25年度)
 ・身障者トイレ(車いす対応):全駅整備完了(23年度)

7. 営業線の概要

線名 項目		御堂筋線						谷町線						四つ橋線		中央線			
線 区 概 要	営 業 区 間	江坂～中百舌鳥						大日～八尾南						西梅田～住之江公園		夢洲～長田			
	営 業 キ ロ (k m)	24.5						28.1						11.4		21.1			
	(地 上 部)	(5.4)						(1.2)						(0)		(8.3)			
	駅 数 (駅)	20						26						11		15			
	ホ ー ム ド ア (柵) 設 置 駅 数 (駅)	20						6						11		15			
軌 間・ 電 気	軌 間 (m)	1,435						1,435						1,435		1,435			
	電 気 方 式 (V) 集 電 方 式	直流750 第三軌条						直流750 第三軌条						直流750 第三軌条		直流750 第三軌条			
車 間		20系		30000系				20系		30000系				20系		30000A系		400系	
	保 有 車 両 (車 両)	180		220				174		78				138		60		138	
	(電 動 車 両)	(90)		(110)				(87)		(39)				(69)		(30)		(69)	
	車 両 長 (m)	先頭18.2 中間18		先頭18.2 中間18		先頭18.2 中間18		先頭18.2 中間18		先頭18.2 中間18		先頭18.2 中間18		先頭182 中間 18		先頭18.9 中間18.7			
	定 員 (人)	先頭130 中間140		先頭130(※1) 中間140(※2)				先頭130 中間140		先頭130 中間140				先頭130 中間140		先頭130 中間140		先頭125 中間139(※3)	
保 安 装 置	ATS ・ ATC	連続誘導式ATC						連続誘導式ATC						連続誘導式ATC		連続誘導式車内信号ATC(夢洲～大阪港) 連続誘導式ATC(大阪港～長田)			
	列 車 通 信	誘導無線式						誘導無線式						誘導無線式		誘導無線式			
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	10						6						6		6			
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒) (平 日)	江坂	新大阪	中津	天王寺	我孫子	中百舌鳥	大日	都島	文の里	喜連瓜破	八尾南							
	朝 混 雑 時	4.30	2.15～4.30	2.15	2.15～4.30	4.30	5	2.30	5	2.50	3.20～4								
	昼 間 時	8	4	8	6	6	6	7.30											
	夕 混 雑 時	5	2.30～5	2.30	5	6～6.30	3～3.30	3～6.30	6～6.30	3.30	5								
	運 転 所 要 時 間 (分 ・ 秒)	上り47.25			下り46.30			上り53.55			下り53.55			上り22.50 下り21.50		上り34.45 下り34.05			
	平 均 速 度 (k m / h)	上り41.1			下り41.3			上り39.6			下り39.1			上り38.7 下り39.1		上り45.6 下り46.2			
表 定 速 度 (k m / h)	上り31.0			下り31.6			上り31.3			下り31.3			上り30.0 下り31.3		上り36.4 下り37.1				
最 高 速 度 (k m / h)	70.0						70.0						70.0		95.0				
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		1,238						516						261		337			
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		2,380						1,005						363		641			

(※1)御堂筋線 30000系第04、第05編成_129

(※2)御堂筋線 30000系第04～第22編成_139

(※3)中央線 T2_140 T2以外_139

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		千日前線	堺筋線	長堀鶴見緑地線		今里筋線	南港ポートタウン線 (ニュートラム)
線 区 概 要	営 業 区 間	野田阪神～南翼	天神橋筋六丁目～天下茶屋	大正～門真南		井高野～今里	コスモスクエア～住之江公園
	営 業 キ ロ (k m)	12.6	8.5	15		11.9	7.9
	(地 上 部)	(0)	(0)	(0)		(0)	(7.9)
	駅 数 (駅)	14	10	17		11	10
	ホ ー ム ド ア (柵) 設 置 駅 数 (駅)	14	10	17		11	10
軌 間 ・ 電 気	軌 間 (m)	1.435	1.435	1.435		1.435	2.750
	電 気 方 式 (V)	直流750	直流1,500	直流1,500		直流1,500	側方案内方式三相交流600V
	集 電 方 式	第三軌条	架空線	架空線		架空線	側面接触方式
車 両	保 有 車 両 (車 両) (電 動 車 両)	20系	66系	70系	80系	80系	200系
		68 (34)	136 (68)	100 (100)	4 (4)	64 (64)	80 (80)
	車 両 長 (m)	先頭18.2 中間18	18.2	先頭15.2 中間15	先頭15.2 中間15	先頭15.2 中間15	7.6
	定 員 (人)	先頭130 中間140	編成により異なる(※4)	先頭89 中間101	先頭86 中間99	先頭88 中間99	先頭40 中間43
保 安 装 置	ATS ・ ATC	連続誘導式 車内信号ATC	連続誘導式ATC	連続誘導式 車内信号ATC		連続誘導式 車内信号ATC	連続誘導式 車内信号ATC
	列 車 通 信	誘導無線式	空間波無線式(アナログ)	誘導無線式		空間波無線式(アナログ)	空間波無線式(デジタル)
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	4	8	4		4	4
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒)						
	(平 日)						
	朝 混 雑 時	4.10～5.00	3.30	3～3.20		4～5	2.30
	昼 間 時	7.30	6.40	6.40		10	6
	夕 混 雑 時	5	3.30	3.30		5	3.45
	運転所要時間(分・秒)	上り28.10 下り28.10	上り17.15 下り17.45	上り32.15 下り31.25		上り22.50 下り24.00	上り18.25 下り18.25
平 均 速 度 (k m / h)		上り38.1 下り37.8	上り39.7 下り38.0	上り37.4 下り37.5		上り37.7 下り36.3	上り33.5 下り32.3
表 定 速 度 (k m / h)		上り26.8 下り26.8	上り29.6 下り28.7	上り27.9 下り28.6		上り31.3 下り29.8	上り25.7 下り25.7
最 高 速 度 (k m / h)		70.0	70.0	70.0		70.0	55.0
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		203	336	178		68	70
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		246	419	248		110	74

(※4)堺筋線 66系第13～17編成 先頭130 中間140
66系第01～12編成 先頭127 中間137

大阪市高速電気軌道(株)
路線図



札幌市

1. 地下鉄の建設費

(単位: 億円)(税込み)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
南 北 線 (北 24 条 ～ 真 駒 内)	キロ 12.625	432	昭 和 46 年 12 月 16 日 全 通				432	34	395	22	15
南 北 線 (麻 生 ～ 北 24 条)	2.400	390	昭 和 53 年 3 月 16 日 全 通				390	163	350	39	1
東 西 線 (琴 似 ～ 白 石)	10.670	1,090	昭 和 51 年 6 月 10 日 全 通				1,090	102	965	107	18
東 西 線 (白 石 ～ 新 札 幌)	7.340	1,324	昭 和 57 年 3 月 21 日 全 通				1,324	180	1,168	130	26
東 西 線 (琴 似 ～ 宮 の 沢)	2.790	479	平 成 11 年 2 月 25 日 全 通				479	172	268	94	117
東 豊 線 (栄 町 ～ 豊 水 す す き の)	8.995	2,337	昭 和 63 年 12 月 2 日 全 通				2,337	260	2,095	233	9
東 豊 線 (豊 水 す す き の ～ 福 住)	5.535	966	平 成 6 年 10 月 14 日 全 通				966	174	672	187	107
合 計	50.355	7,018					7,018	—	5,913	812	293

2. 令和7年度事業計画

2-1) 新線

「計画なし」

2-3) 建設計画

「計画なし」

2-2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
駅舎施設設備の改修	百万円 5,493	エスカレーター・エレベーター更新工事、南北線さっぽろ駅 防煙垂れ壁改修工事、北18条駅リフレッシュ改修工事等
地震対策	4,970	南車両基地改築ほか工事等
その他	11,416	駅舎設備、建物・土木構造物、軌道、変電所・電気室、 信号通信、車両機器、工場機器設備、広告設備、 備品等、局関係施設等
合計	21,879	

(札幌市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税込み)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人		千円	千円	両	
令和2年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	162,823	446	981	30,605,908	83,852	7	
令和3年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	174,681	479	1,050	32,944,842	90,260	7	
令和4年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	201,560	552	1,199	38,488,660	105,448	7	
令和5年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	218,654	597	1,291	42,304,635	115,586	7	
令和6年度	48.0	4.6	3	49 (46)	368	229,875	630	1,350	44,383,405	121,598	7	
令和7年度 予定	48.0	4.6	3	49 (46)	368	226,573	621	-	43,605,000	119,466	7	

(注):()内は同一駅名を1駅とした場合の駅数

4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (KV)		66	66	66
受 電 個 所 数		11	11	11
使用 電力量 (MWH)	電車用	58,216	57,935	57,935
	付帯用	63,127	60,645	60,645
	計	121,343	118,580	118,580
電 気 料 金 (百 万 円)		3,327	3,188	3,188

※電気料金は、全て税込み

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度		令和7年度 見 込	
エスカレーター		240 箇所		242 箇所	
エレベーター		118 箇所		118 箇所	
身障者用	ト イ レ	54 箇所		54 箇所	
	点字券売機	226 箇所		226 箇所	
	斜 路	37 箇所	24 駅	38 箇所	25 駅
	チャイム等	291 箇所	46 駅	291 箇所	46 駅
そ の 他		—		—	
基準適合段差解消駅		44 駅		44 駅	
自転車 置 場	設置駅数	45 駅		45 駅	
	収容台数	36,413 台		36,257 台	

(札幌市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		南北線	東西線	東豊線
線 区 概 要	営 業 区 間	麻生～真駒内	宮の沢～新さっぽろ	栄町～福住
	営 業 キ ロ (k m)	14.3	20.1	13.6
	(地 上 部)	(4.6)	(一)	(一)
	駅 数 (駅)	16	19	14
	ホ ー ム ド ア (柵) 設 置 駅 数 (駅)	16	19	14
軌 間 ・ 電 気	軌 間 (m)	2,230	2,150	2,150
	電 気 方 式 (V)	直流750	直流1,500	直流1,500
	集 電 方 式	第三軌条	架空線	架空線
車 両	保 有 車 両 (車 両)	5000形	8000形	9000形
	(電 動 車 両)	120	168	80
	(60)	(60)	(72)	(40)
	車 両 長 (m)	18.4	18.0	18
	定 員 (人)	先頭 128、中間 143	先頭 119、中間 135	先頭 121、中間 137
保 安 装 置	ATS ・ ATC	ATC	ATC	ATC
	列 車 通 信	誘導無線式	誘導無線式	誘導無線式
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	6	7	4
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒) (平 日)			
	朝 混 雑 時	4.0～4.5	4.0～4.5	3.5～4.0
	昼 間 時	7.0	7.0	7.5
	夕 混 雑 時	5.0～5.5	5.0～5.5	5.0～5.5
	運転所要時間(分・秒)	27.5	35.0	25.5
	平 均 速 度 (k m / h)	39.0	41.6	39.2
表 定 速 度 (k m / h)		31.2	34.4	32.1
最 高 速 度 (k m / h)		70.0	70.0	70.0
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		233	249	148
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		399	655	296

注：軌間(走行輪中心間隔)

札幌市地下鉄路線図



仙 台 市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
南 北 線 (八 乙 女 ～ 富 沢)	キロ 14.4	2,340	昭 和 6 2 年 7 月 1 5 日 全 通				2,340	163	1,841	205	294
(泉 中 央 ～ 八 乙 女)	1.1	97	平 成 4 年 7 月 1 5 日 全 通				97	88	74	16	7
東 西 線 (八木山動物公園～荒井)	14.4	2,327	平 成 2 7 年 1 2 月 6 日 全 通				2,327	162	730	463	1,134
合 計	29.9	4,764					4,764				

仙台市

2. 令和7年度事業計画

2- (1) 新線

「計画なし」

2- (3) 建設計画

「計画なし」

2- (2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
建 物	百万円 2,425	動力監視設備更新等
線 路 設 備	13	橋りょう検査路改修
電 路 設 備	1,976	通信ネットワーク設備等更新等
車 両	2,442	南北線車両更新等
機 械 装 置	1,546	券売機及び精算機更新等
そ の 他	287	
合計	8,689	

※予算額は当初予算

(仙台市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人	百万人キロ	千円	千円	両	
令和2年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	69,601	191	360	11,619,880	31,835	4	
令和3年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	74,982	205	386	12,675,740	34,728	4	
令和4年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	82,823	227	423	14,129,670	38,711	4	
令和5年度	28.7	3.9	2	30 (29)	144	90,136	246	454	15,500,700	42,352	4	
令和6年度	28.7	3.9	2	30 (29)	148	93,233	255	470	15,976,388	43,771	4	
令和7年度 予定	28.7	3.9	2	30 (29)	148	97,558	267	-	18,197,477	49,856	4	

(注):()内は同一駅名を1駅とした場合の駅数

4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込
受変電圧 (KV)		66	66	66
受電箇所数		7	7	7
使用電力量 (MWH)	電車用	26,829	26,026	26,392
	付帯用	26,937	26,317	26,707
	計	53,766	52,343	53,099
電気料金 (百万円)		1,327	1,447	1,588

※電気料金は全て税込み、使用電力量と電気料金は小数点第1位以下四捨五入

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

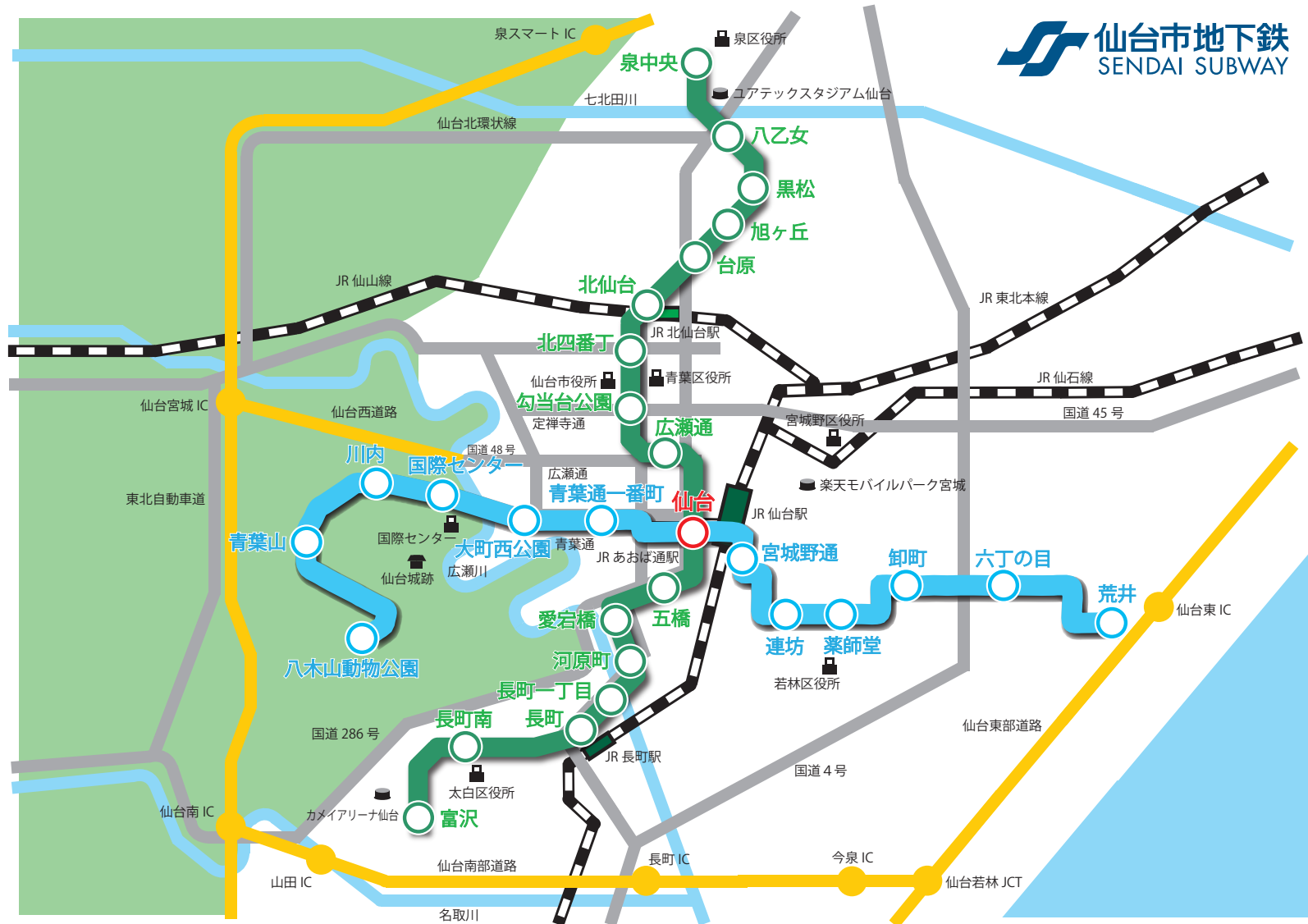
年度 項目		令和6年度		令和7年度 見込	
エスカレーター		210 箇所		210 箇所	
エレベーター		71 箇所		71 箇所	
身障者用	トイレ	83 箇所		83 箇所	
	点字券売機	35 箇所		35 箇所	
	斜路	3 箇所	3 駅	3 箇所	3 駅
	チャイム等	376 箇所	30 駅	376 箇所	30 駅
その他		1 箇所		1 箇所	
基準適合段差解消駅		30 駅		30 駅	
自転車 置場	設置駅数	29 駅		29 駅	
	収容台数	18,539 台		16,769 台	

(仙台市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		南北線	東西線	
線 区 概 要	営 業 区 間	泉中央～富沢	八木山動物公園～荒井	
	営 業 キ ロ (k m)	14.8	13.9	
	(地 上 部)	(3.3)	(0.6)	
	駅 数 (駅)	17	13	
軌 間 ・ 電 気	ホ ー ム ド ア (柵)	17	13	
	設 置 駅 数 (駅)			
	軌 間 (m)	1.067	1.435	
	電 気 方 式 (V)	直流1,500	直流1,500	
車 両	集 電 方 式	架空線	架空線	
	保 有 車 両 (車 両)	88	60	
	(電 動 車 両)	(44)	(60)	
	車 両 長 (m)	先頭21.75 中間20.00	先頭16.75 中間16.5	
保 安 装 置	定 員 (人)	1000N系:144 3000系:145	先頭92 中間102	
	ATS ・ ATC	ATC(高周波連続誘導方式 車内信号付き)	ATC(高周波連続誘導方式 車内信号付き)	
	列 車 通 信	空間波無線式	空間波無線式	
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	4	4	
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒)			
	(平 日)			
	朝 混 雑 時	3.00～5.00	5.00～6.00	
	昼 間 時	10.0	10.0	
	夕 混 雑 時	5.00～5.30	6.00	
	運転所要時間(分・秒)	28.15～29.35	26.35～27.05	
平 均 速 度 (k m / h)		36.0(北行)、36.9(南行)	36.4(西行)、36.7(東行)	
表 定 速 度 (k m / h)		30.0～31.4	30.8～31.4	
最 高 速 度 (k m / h)		75.0	70.0	
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		194	87	
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		348	123	



東京都

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路線別		延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
										企業債	出資金	その他
東京1号線 浅草線	押上～西馬込	キロ 18.75	864	昭和43年11月15日全通				864	46	759	70	35
		22.79	1,450	昭和51年5月6日開通				1,450	64	1,327	65	58
東京6号線 三田線	西高島平～三田	22.79	1,450	昭和51年5月6日開通				1,450	64	1,327	65	58
	三田～白金高輪	1.61	763	平成12年9月26日開通				763	474	470	147	146
東京10号線 新宿線	新宿～東大島	15.57	3,957	昭和55年3月16日開通				3,957	254	4,981	538	303
	東大島～篠崎	6.69	1,350	昭和61年9月14日開通				1,350	397			
	篠崎～本八幡	2.55	516	平成元年3月19日開通				516	202			
	練馬～光が丘	4.83	1,412	平成3年12月10日開通				1,412	292	2,773	723	495
東京12号線 大江戸線	新宿～練馬	9.11	2,579	平成9年12月19日開通				2,579	283			
	都庁前～新宿	29.64	9,583	平成12年12月12日開通				9,583	323	2,503	2,011	5,069
合 計		111.54	22,474					22,474	—	12,813	3,554	6,106

東京都

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

(税込み)

項目	予算額	事業内容
安全・安心な交通機関	百万円 13,191	地下鉄施設の耐震対策の強化及び構造物の長寿命化等
誰もが円滑に移動できる公共交通	12,343	乗換駅等でのエレベーターの整備、地下鉄駅トイレの改良等
その他	28,166	浅草線泉岳寺駅の大規模改良等
合計	53,700	

2-1(3)建設計画

「計画なし」

(東京都)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他社乗入車両)	備考
	営業キロ	内地土部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ				千人	千人		千円	千円		
令和2年度	109	7.6	4	106 (99)	1,190	700,207	1,918	5,006	95,381,048	261,318	10 (10)	
令和3年度	109	7.6	4	106 (99)	1,206	728,727	1,997	5,176	102,314,671	280,314	10 (10)	
令和4年度	109	7.6	4	106 (99)	1,216	818,428	2,242	5,731	115,869,543	317,451	10 (10)	
令和5年度	109	7.6	4	106 (99)	1,216	910,735	2,488	6,349	129,955,587	355,070	10 (10)	
令和6年度	109	7.6	4	106 (99)	1,212	963,879	2,641	6,704	135,598,479	371,503	10 (10)	
令和7年度 予定	109	7.6	4	106 (99)	1,216	963,525	2,640	6,708	148,259,000	406,189	10 (10)	

(注)乗車料収入の令和4年度予定は、消費税込みである。駅数の()内は同一駅を1駅とした場合の数

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業乗入者		自社線内乗入キロ数	他社線内乗入キロ数
浅草線	京成電鉄	18.3	81.6
	京浜急行電鉄	18.3	79.3
	北総鉄道	18.3	32.3
	芝山鉄道	18.3	2.2
三田線	東急電鉄	26.5	17.7
	相模鉄道	26.5	35.3
新宿線	京王電鉄	23.5	67.3
合 計		149.7	315.7

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (KV)		60/20	60/20	60/20
受 電 個 所 数		18	19	19
使用電力量 (MWH)	電車用	258,117	261,807	261,807
	付帯用	249,143	244,263	244,263
	計	507,260	506,070	506,070
電 気 料 金 (百 万 円)		12,442	12,437	12,437

※電気料金は、全て税込み

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

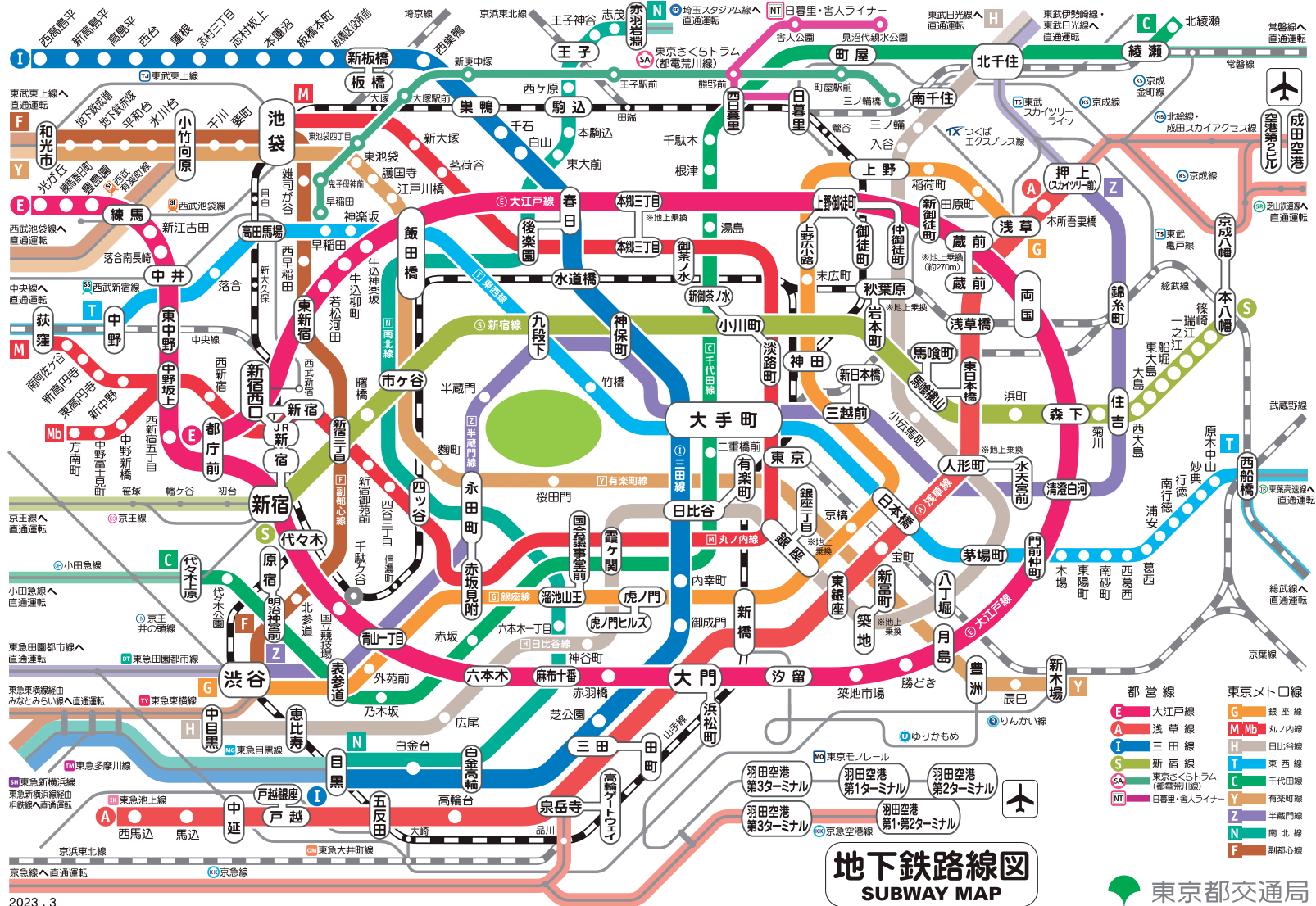
項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エスカレーター		786 基	786 基
		104 駅	104 駅
エレベーター		106 箇所	106 箇所
身障者用	トイレ	106 箇所	106 箇所
	点字券売機	106 箇所	106 箇所
	斜 路	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	チャイム等	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
その他			
基準適合段差解消駅		90 駅	98 駅
自転車置場	設置駅数	97 駅	97 駅
	収容台数	231 箇所	231 箇所
		83,467 台	83,467 台

(東京都)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名		東京1号線	東京6号線	東京10号線	東京12号線	
項目		浅草線	三田線	新宿線	大江戸線	
線区概要	営業区間	西馬込～押上	目黒～西高島平	新宿～本八幡	都庁前～光が丘	
	営業キロ(km)	18.3	26.5	23.5	40.7	
	(地上部)	－	(5.1)	(2.5)	－	
	駅数(駅)	20	27	21	38	
	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	4	27	21	38	
軌間・電気	軌間(m)	1,435	1,067	1,372	1,435	
	電気方式(V)	直流1,500	直流1,500	直流1,500	直流1,500	
	集電方式	架空線	架空線	架空線	架空線	
車両	保有車両(車両)	212	248	280	472	
	(電動車両)	(159)	(124)	(168)	(472)	
	車両長(m)	18	20	20	16.5	
	定員(人)	121～134	136～149	132～149	84～100	
保安装置	ATS・ATC	C-ATS	車内信号ATC	車内信号ATC	車内信号ATC	
	列車通信	空間波無線	空間波無線	空間波無線	空間波無線	
運転概要	編成両数(両)	8	6・8	10	8	
	運転間隔(分・秒) (平日)					
	朝混雑時	2.30	2.30～5.00	3.00～4.00	3.00	
	昼間時	5.00～10.00	6.00	6.00	6.00	
	夕混雑時	2.30～5.00	4.30	4.00～7.30	4.30	
	運転所要時間(分・秒)	北行 37.55 南行 37.40 20.25	北行 52.20 南行 52.15	東行 41.30 西行 41.30 東行 29.55 西行 29.45	A線 84.15 B線 83.30	
	平均速度(km/h)	北行 39.0 南行 39.0 (急行) 41.0	北行 40.9 南行 41.0	東行 43.5 西行 43.5 東行 52.4 西行 52.7	A線 36.9 B線 37.3	
表定速度(km/h)	(急行)	北行 29.0 南行 29.2	北行 30.4 南行 30.4	東行 34.0 西行 34.0 東行 47.1 西行 47.3	A線 29.0 B線 29.2	
	最高速度(km/h)	70.0	75.0	75.0	70.0	
	令和6年度1日当り平均輸送人員(千人)	729	646	740	889	
令和6年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)		1,388	1,587	1,847	1,882	



横浜市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
1 号 線 関 内 ～ 戸 塚	キロ 12.4	1,554	平 成 元 年 8 月 27 日 全 通				1,554	125	1,369	150	35
1 号 線 戸 塚 ～ 湘 南 台	7.4	1,642	平 成 11 年 8 月 29 日 開 通				1,642	222	583	296	763
3 号 線 横 浜 ～ 関 内	3.1	388	昭 和 51 年 9 月 4 日 開 通				388	125	342	41	5
3 号 線 新 横 浜 ～ 横 浜	7.1	1,175	昭 和 60 年 3 月 14 日 開 通				1,175	165	1,053	110	12
3 号 線 あざみ野～新横浜	10.7	2,528	平 成 5 年 3 月 18 日 開 通				2,528	236	1,441	486	601
4 号 線 日 吉 ～ 中 山	13.1	2,412	平 成 20 年 3 月 30 日 開 通				2,412	184	1,208	418	786
合計	53.8	9,699					9,699	—	5,996	1,501	2,202

横浜市

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-1(3)建設計画

「計画なし」

2-2(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
車両関係	百万円 1,312	3000N形電気機器更新等
その他	13,018	地下鉄施設・設備の計画的更新・補修
合計	14,330	

(横浜市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人	百万人キロ	千円	千円	両	
令和2年度	53.4	10.1	3	42 (40)	284	176,540	484	—	29,678,282	81,310	BL 6 GL 4	
令和3年度	53.4	10.1	3	42 (40)	284	194,477	533	—	32,564,709	89,218	BL 6 GL 4	
令和4年度	53.4	10.1	3	42 (40)	290	212,306	582	—	35,731,016	97,893	BL 6 GL 6	
令和5年度	53.4	10.1	3	42 (40)	302	222,346	608	—	37,550,905	102,598	BL 6 GL 6	
令和6年度	53.4	10.1	3	42 (40)	310	228,232	625	—	39,084,405	107,081	BL 6 GL 6	
令和7年度 予定					310	227,257	623	—	42,743,501	117,105	BL 6 GL 6	

(注):()は同一駅名を1駅とした場合の駅数 BL:ブルーライン(1・3号線) GL:グリーンライン(4号線)

※決算額は税抜き、予算額は税込みで記載。

4. 相互乗入れ運転

[該当なし]

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込
受変電圧 (KV)		66/22	66/22	66/22
受電箇所数		9	9	9
使用電力量 (MWH)	電車用	73,903	73,413	73,792
	付帯用	44,965	44,909	45,988
	計	118,869	118,323	119,780
	電気料金 (百万円)	3,975	2,701	3,102

※電気料金は消費税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度	令和7年度 見込
エスカレーター		180 箇所	180 箇所
エレベーター		103 箇所	103 箇所
身障者用	トイレ	79 箇所	79 箇所
	点字券売機	102 箇所	102 箇所
	斜路	12 箇所 10 駅	12 箇所 10 駅
	チャイム等	158 箇所	158 箇所
その他		50 箇所	50 箇所
基準適合段差解消駅		40 駅	40 駅
自転車 置場	設置駅数	12 駅	12 駅
	収容台数	4,048 台	4,048 台

・その他は点字運賃表

・自転車置場収容台数は交通局関連団体が管理するものとした。

(横浜市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

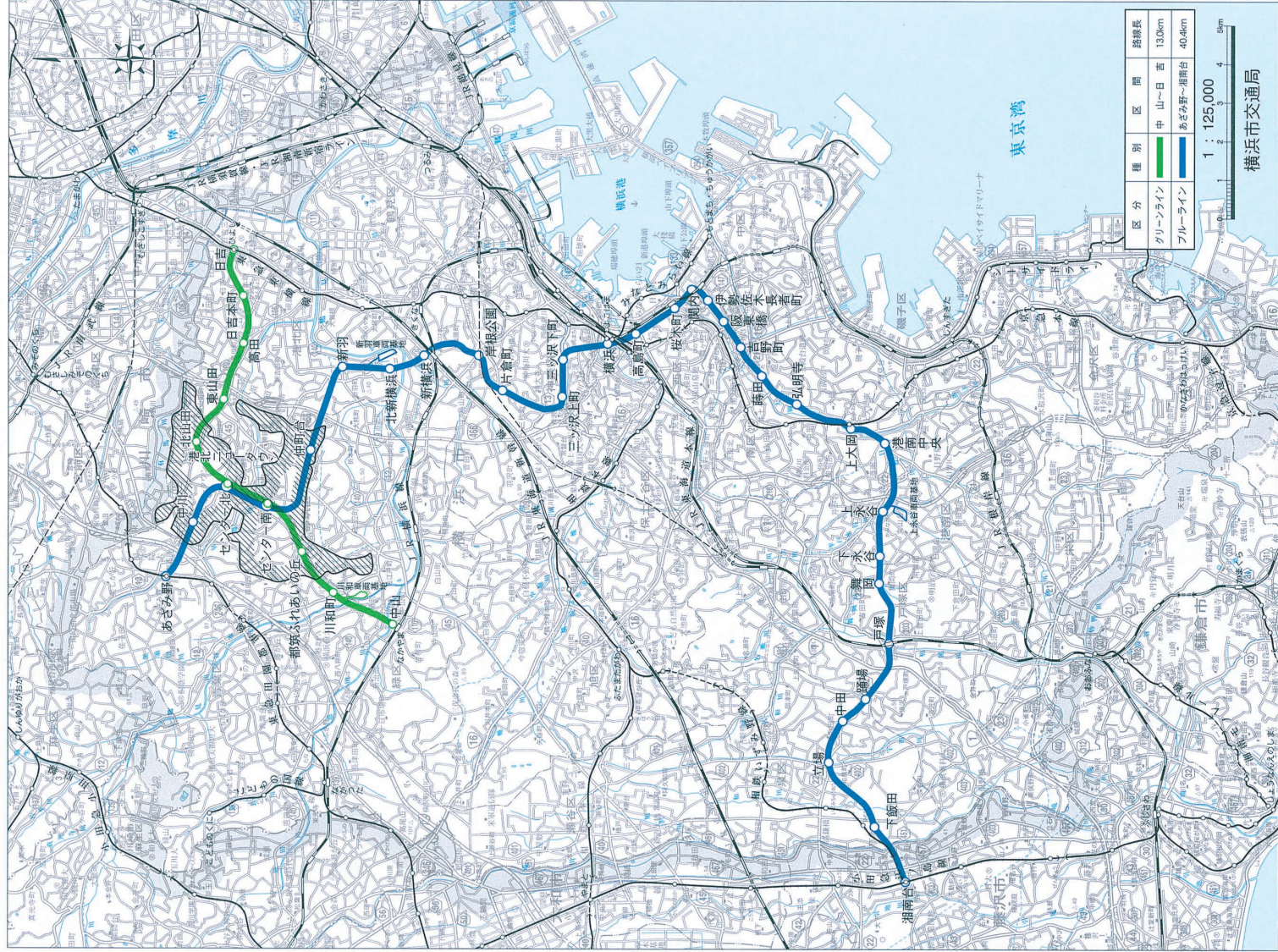
線名		1・3号線		4号線	
項目		ブルーライン		グリーンライン	
線区概要	営業区間	あざみ野～湘南台		日吉～中山	
	営業キロ(km)	40.4		13.0	
	(地上部)	(7.7)		(2.4)	
	駅数(駅)	32		10	
軌間・電気	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	32		10	
	軌間(m)	1,435		1,435	
	電気方式(V)	直流750		直流1,500	
	集電方式	第三軌条		架空線	
車両	保有車両(車両)	222		80	
	(電動車両)	(148)		(80)	
	車両長(m)※1	17.5		15.0	
	定員(人)	127※2		95, 97※3	
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式ATC		連続誘導式ATC	
	列車通信	誘導無線式		空間波無線方式 (LCXケーブル)	
運転概要	編成両数(両)	6		4or6	
	運転間隔(分・秒) (平日)				
	朝混雑時	4.40		3.30	
	昼間時	8.30～10		10	
	夕混雑時	6		6	
	運転所要時間(分・秒)	快速	普通	上り 20.40 下り 20.35	
		上り 61.05 60.15	68.45 68.10		
平均速度(km/h)	平均	49.5	45.0	49.0	
表定速度(km/h)	表定	40.3	35.5	37.9	
最高速度(km/h)		80.0		80.0	
令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)		512		136	
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		1,451		250	

※1 : 中間車の車両長

※2 : 4000形の号車あたりの平均定員

※3 : 4.6両編成の号車あたりの平均定員

横浜市高速鉄道路線図



平成二十一年十月

横浜市交通局
横浜市中区太田町2-22 TEL 045-201-2715 (株) 中央ジェイマックス

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を使用したものである。」
(承認番号 平20開地、第59号)

名古屋市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
東 山 線 高 畑 ～ 藤 が 丘	21.4	937	昭 和 57 年 9 月 21 日 全 通				937	44	854	62	21
名 城 線 大 曾 根 ～ 大 曾 根	26.1	3,102	平 成 16 年 10 月 6 日 全 通				3,102	119	1,670	532	900
名 港 線 金 山 ～ 名 古 屋 港	6.1	237	昭 和 46 年 3 月 29 日 全 通				237	39	235	0	2
鶴 舞 線 上 小 田 井 ～ 赤 池	21.2	2,659	平 成 5 年 8 月 12 日 全 通				2,659	125	2,306	282	71
桜 通 線 太 閤 通 ～ 徳 重	19.9	4,970	平 成 23 年 3 月 27 日 全 通				4,970	250	3,705	705	560
合計	94.7	11,905					11,905	—	8,770	1,581	1,554

名古屋
市

2. 令和7年度事業計画

2- (1) 新線

「計画なし」

2- (3) 建設計画

「計画なし」

2- (2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
バリアフリー 関連施設整備工事	百万円 2,535	駅エレベーターの整備 伏見駅、御器所駅、本山駅、新瑞橋駅、瑞穂運動場西駅、 本郷駅
可動式ホーム柵の整備	1,862	鶴舞線可動式ホーム柵の整備
構造物の耐震補強	198	地下鉄構造物の耐震補強
車両の購入	—	
その他	14,305	駅施設整備等
合計	18,900	

(名古屋市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税込み)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和2年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	346,427	949	2,172	58,320,414	159,782	6	
令和3年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	380,094	1,041	2,394	63,828,898	174,874	6	
令和4年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	418,995	1,148	2,624	71,412,356	195,650	6	
令和5年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	446,320	1,219	2,771	77,456,702	211,630	6	
令和6年度	93.3	3.1	6	100 (87)	782	461,001	1,263	2,840	80,369,566	220,191	6	
令和7年度 予	93.3	3.1	6	100 (87)	782	477,749	1,309	-	83,340,390	228,330	6	

(注):()は同一駅名を1駅とした場合の数

※乗車料収入は消費税込みの数値

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数 キロ	他社線内 乗入キロ数 キロ
鶴舞線	名古屋鉄道	20.4	38
上飯田線	名古屋鉄道	0.8	20.6
合 計		21.2	58.6

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 電 電 圧 (KV)		70/30/6	70/30/6	70/30/60
受 電 箇 所 数		30	30	30
使用 電力量 (MWH)	電 車 用	119,688	118,075	119,213
	付 帯 用	96,523	94,060	92,810
	計	216,211	213,135	212,023
電 気 料 金 (百 万 円)		5,109	5,187	6,102

※電気料金は、税込み

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エ ス カ レ ー タ ー		399 箇所	399 箇所
エ レ ベ ー タ ー		262 箇所	266 箇所
身 障 者 用	ト イ レ	100 箇所	101 箇所
	点 字 券 売 機	342 箇所	342 箇所
	斜 路	(170) 箇所	(173) 箇所
	チャイム等	283 箇所	283 箇所
そ の 他		箇所	箇所
基準適合段差解消駅		87 駅	87 駅
自 転 車 置 場	設置駅数	87 駅	87 駅
	収容台数	88,807 台	88,514 台

※:()内は、移動円滑化実績報告書で報告した数値。

※:チャイム等は、出入口、ホーム階段、改札口に設置している音声誘導装置。

※:基準適合段差解消駅は、公共交通移動等円滑化基準第4条第2項から第7項及び第9項の基準に適合する同条第1項に規定する「移動等円滑化された経路」を乗降場ごとに1以上確保している駅。

(名古屋市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		東山線	名城線	名港線	鶴舞線	桜通線	上飯田線
線区概要	営業区間	高畑～藤が丘	ナゴヤドーム前矢田 ～ナゴヤドーム前矢田	金山～名古屋港	上小田井～赤池	太閤通～徳重	上飯田～平安通
	営業キロ(km)	20.6	26.4	6.0	20.4	19.1	0.8
	(地上部)	(2.6)	(0)	(0)	(0.5)	(0)	(0)
	駅数(駅)	22	28	7	20	21	2
軌間・電気	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	22	28	7	5	21	2
	軌間(m)	1.435	1.435	1.435	1.067	1.067	1.067
	電気方式(V)	直流600	直流600	直流600	直流1,500	直流1,500	直流1,500
	集電方式	第三軌条	第三軌条	第三軌条	架空線	架空線	架空線
車両	保有車両(両)	288	216	150	120	8	
	(電動車両)	(192)	(144)	(75)	(72)	(4)	
	車両長(m)	15	15	20	20	20	
	定員(人)	96～107	96～107	136～152	127～152	128～135	
保安装置	ATS・ATC	連続誘導式ATC					
	列車通信	誘導無線式					
運転概要	編成両数(両)	6	6	6	5	4	
	運転間隔(分・秒) (平日)						
	朝混雑時	2	3～3.5	6～7	4.5	4	8.5
	昼間時	5	5	10	10	10	15
	夕混雑時	3	3.5	7	6	6	10
	運転所要時間(分・秒)	38.10	59.00	11.10	38.30	36.30	1.30
平均速度(km/h)	平均速度(km/h)	40.1	39.8	40.8	42.1	40.4	32.0
	表定速度(km/h)	32.4	26.8	32.4	31.9	31.4	32.0
	最高速度(km/h)	65.0	65.0	65.0	75.0	75.0	75.0
令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)		570	587		278	272	33
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		1,012	780		587	451	10

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。

名古屋市地下鉄



京都市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)

路 線 別		延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
										企業債	出資金	その他
烏丸線	北 山 ～ 竹 田	キロ 11.7	2,600	昭和56年5月29日、昭和63年6月11日、平成2年10月24日開通				2,600	222	2,089	238	273
	国 際 会 館 ～ 北 山	2.6	453	平 成 9 年 6 月 3 日 開 通				453	174	144	79	230
東西線	醍 醐 ～ 御 陵	9.4	2,972	平 成 9 年 10 月 12 日 開 通				2,972	316	1,952	574	446
	三 条 京 阪 ～ 二 条											
	御 陵 ～ 三 条 京 阪	3.5	1,543	平 成 21 年 4 月 1 日 事 業 譲 受				1,543	(注)359	—	129	1,414
	六 地 蔵 ～ 醍 醐	2.4	556	平 成 16 年 11 月 26 日 開 通				556	232	303	111	142
	二 条 ～ 太 秦 天 神 川	2.4	390	平 成 20 年 1 月 16 日 開 通				390	162	109	30	251
合計		32.0	8,514					8,514	—	4,597	1,161	2,756

(注) 御陵～三条京阪間のキロ当り建設費用は、京阪京津線乗入れ区間分0.8kmを加えた4.3kmにて算出している。

※決算額は税抜き

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-1(3)建設計画

「計画なし」

2-2(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
車 両 関 係	百万円 2,597	烏丸線車両新造 主電動機部分更新 等
駅 務 関 係	2,480	烏丸線放送装置更新工事 烏丸線有人改札口リモート化(旅客対応機器)対応整備 等
そ の 他	1,398	醍醐車庫、醍醐事務所電気設備更新工事 電気室更新工事 等
合計	6,475	

(京都市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地土部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人		千円	千円	両	
令和2年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	97,546	267	518	16,941,877	46,416	6	
令和3年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	107,684	295	591	18,602,951	50,967	6	
令和4年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	127,086	348	666	22,345,901	61,222	6	
令和5年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	141,093	385	705	25,193,739	69,024	6	
令和6年度	31.2	0.4	2	32 (31)	222	146,794	402	740	26,260,358	71,946	6	
令和7年度 予定	31.2	0.4	2	32 (31)	222	147,000	403	-	26,333,743	72,147	6	

(注):()は同一駅名を1駅とした場合の駅数

※決算額は税抜き

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
		キロ	キロ
烏丸線	近畿日本鉄道	13.7	35.4
東西線	京阪電気鉄道	8.8	—
合 計		22.5	35.4

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (KV)		22	22	22
受 電 個 所 数		9	9	9
使用 電力 量 (MWh)	電 車 用	32,401	31,891	31,253
	付 帯 用	47,352	47,297	54,117
	計	79,753	79,188	85,370
	電 気 料 金 (百 万 円)	1,735	1,683	1,814

※電気料金は、税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

項目		令和6年度		令和7年度 見 込	
エ ス カ レ ー タ ー		110 か所		110 か所	
エ レ ベ ー タ ー		77 か所		77 か所	
身 障 者 用	ト イ レ	※1	34 か所		34 か所
	点 字 券 売 機		0 か所		0 か所
	斜 路	25 か所	14 駅	25 か所	14 駅
	チ ャ イ ム 等	176 か所	31 駅	176 か所	31 駅
そ の 他		—			
基準適合段差解消駅		31 駅		31 駅	
自 転 車 置 場 ※2	設置駅数	2 駅		2 駅	
	収容台数	833 台		833 台	

(注) ※1 但し男女それぞれを1か所として計上した場合75か所

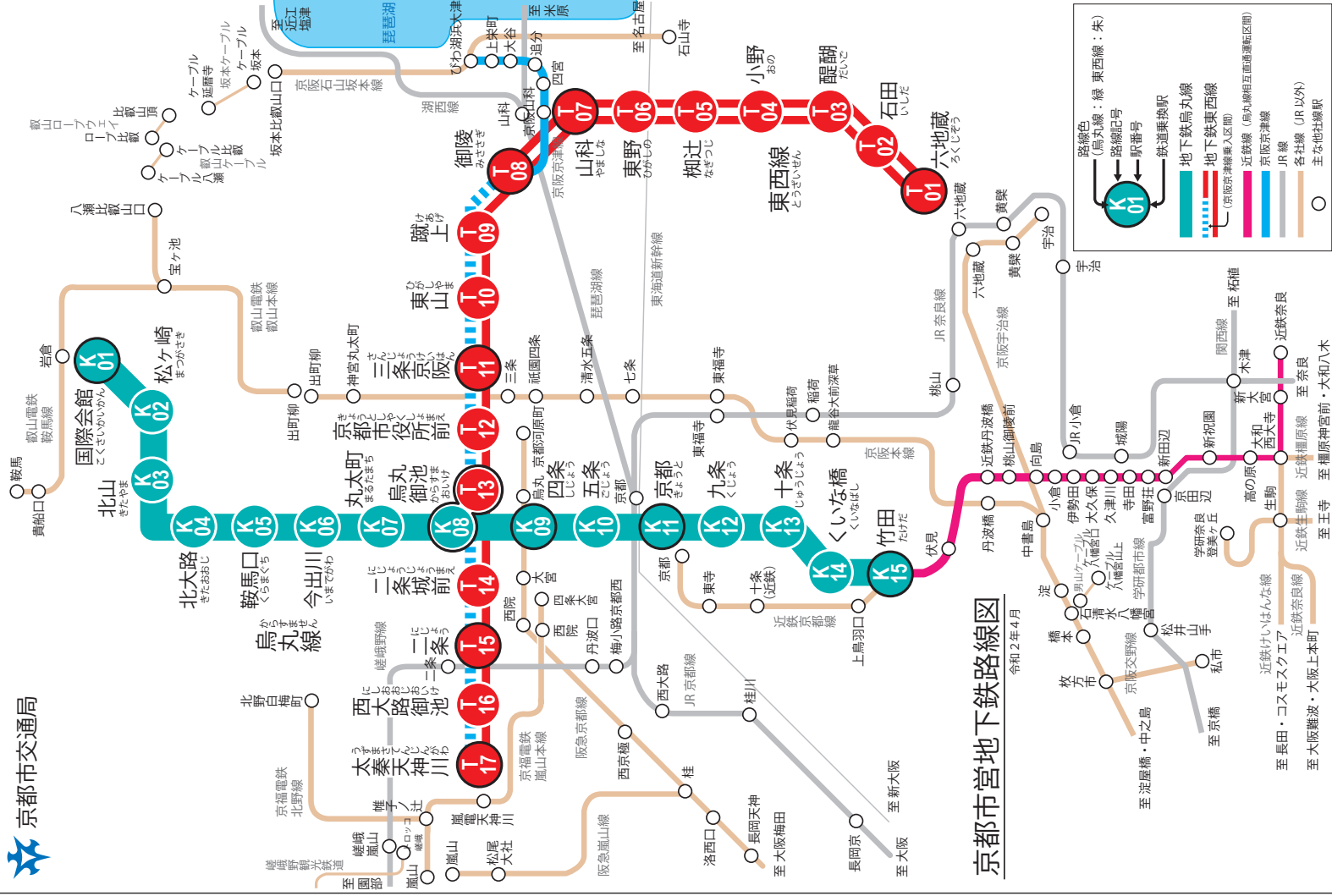
※2 自転車置場は交通局が管理するもの

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

項目 \ 線名		烏丸線	東西線	
線区概要	営業区間	国際会館～竹田	六地蔵～太秦天神川	
	営業キロ(km)	13.7	17.5	
	(地上部)	(0.4)	(0)	
	駅数(駅)	15	17	
	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	4	17	
軌間・電気	軌間(m)	1,435	1,435	
	電気方式(V)	直流1,500	直流1,500	
	集電方式	架空線	架空線	
車両	保有車両(車両)	120	102	
	(電動車両)	(80)	(68)	
	車両長(m)	20.5	16.5	
	定員(人)	10系836/6両 20系832/6両	600/6両	
保安装置	ATS・ATC	ATC	ATC	
	列車通信	誘導無線式	誘導無線式	
運転概要	編成両数(両)	6	6/京阪乗入れは4両	
	運転間隔(分・秒) (平日)			
	朝混雑時	3.00～4.00	4.00～6.30	
	昼間時	7.30	7.30	
	夕混雑時	5.00	7.00～8.00	
	運転所要時間(分・秒)	27.30	34.30	
平均速度(km/h)		38.7	上り38.5 下り38.4	
表定速度(km/h)		29.9	30.4	
最高速度(km/h)		75.0	75.0	
令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)		289	166	
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		455	285	

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。



神戸市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
山 手 ・ 西 神 線 (新 神 戸 ～ 新 長 田) (新 長 田 ～ 名 谷)	キロ 13.3 (7.6) (5.7)	2,083	昭 和 60 年 6 月 18 日 全 通				2,083	152	2,158	240	110
西 神 延 伸 線 (名 谷 ～ 西 神 中 央)	9.4	425	昭 和 62 年 3 月 18 日 全 通				425	46			
北 神 線 (谷 上 ～ 新 神 戸)	7.5		令 和 2 年 6 月 1 日 市 営 化								
海 岸 線 (新長田～三宮・花時計前)	7.9	2,350	平 成 13 年 7 月 7 日 全 通				2,350	290	1,289	459	601
合 計	38.1	4,858					4,858	—	3,447	699	711

(注)西神線 昭和52年3月13日開通

神戸市

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-1(3)建設計画

「計画なし」

2-2(2)営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
機 械 装 置 整 備 工 事	百万円 4,957	西神山手線列車無線設備更新工事、電力管理システム更新工事、布引変電所・駅電気室他更新工事など
車 両 整 備 工 事	1,211	6000形ワンマン化対応改修、5000形車両用案内表示装置更新、5000形車両用自動放送装置更新 など
建 物 整 備 工 事	7,254	脱炭素化事業(高速、駅ビル)ESCO事業、西神・山手線西神中央駅リニューアル工事、板宿大規模改修工事、西神・山手線 三宮駅西コンコーストイレ イメージアップ改修工事 など
そ の 他	3,749	
合 計	17,171	

(神戸市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地土部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和2年度	38.1	7.4	2	27	238	96,386	264	742	14,889,445	40,793	6	
令和3年度	38.1	7.4	2	27	250	95,519	262	809	15,972,865	43,761	6	
令和4年度	38.1	7.4	2	27	238	104,167	285	883	17,716,057	48,537	6	
令和5年度	38.1	7.4	2	27	214	103,362	283	919	18,618,935	50,871	6	
令和6年度	38.1	7.4	2	27	214	112,307	308	931	19,194,393	52,587	6	
令和7年度 予定	38.1	7.4	2	27	214	114,563	314	931	19,586,162	53,661	6	

※決算額は税抜き

4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度			令和6年度			令和7年度 見込		
受変電圧 (KV)		77	33	22	77	33	22	77	33	22
受電箇所数		2	6	1	2	6	1	2	6	1
使用電力量 (MWH)	電 車 用	39,255			39,413			39,764		
	付 帯 用	33,532			32,474			33,020		
	計	72,787			71,887			72,784		
電 気 料 金 (百 万 円)		—			—			—		

※電気料金は、関西電力との協定に基づき、非公表とします。

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度			令和7年度 見込		
エスカレーター		90 箇所			90 箇所		
エレベーター		52 箇所			52 箇所		
身障者用	トイレル	29 箇所			29 箇所		
	点字券売機	83 箇所			83 箇所		
	斜 路	— 箇所	1 駅	— 箇所	1 駅	— 箇所	1 駅
	チャイム等 その他	— 箇所	— 駅	— 箇所	— 駅	— 箇所	— 駅
基準適合段差解消駅		20 駅			20 駅		
自転車 置 場	設置駅数	21 駅			21 駅		
	収容台数	16,214 台			16,214 台		

(神戸市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名		北神・山手・西神・西神延伸線				海岸線	
項目							
線 区 概 要	営 業 区 間	谷上～西神中央				新長田～三宮・花時計前	
	営 業 キ ロ (k m)	30.2				7.9	
	(地 上 部)	7.4				(0)	
	駅 数 (駅)	17				10	
軌 間 ・ 電 気	ホ ー ム ド ア (柵)	17				0	
	設 置 駅 数 (駅)						
	軌 間 (m)	1.435				1.435	
	電 気 方 式 (V)	直流1,500				直流1,500	
車 両	集 電 方 式	架空線				架空線	
	保 有 車 両 (車 両)	174				40	
	(電 動 車 両)	(87)				(40)	
	車 両 長 (m)	19				15.8	
保 安 装 置	定 員 (人)	124～140 (平均134.6)				84～97 (平均90.5)	
	ATS ・ ATC	高周波連続誘導式ATC				高周波連続誘導式ATC	
	列 車 通 信	誘導無線式				空間波無線方式	
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	6				4	
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒) (平 日)	谷上～ 新神戸	新神戸～ 名谷	名谷～ 学園都市	学園都市～ 西神中央		
	朝 混 雑 時	4～8	3～4	3～4	3～4	6	
	昼 間 時	15	7～8	7～8	7～8	10	
	夕 混 雑 時	5～12	5～6	5～6	5～6	7～8	
	運転所要時間 (分・秒)	8.0	35.1(東行) 35.0(西行)			15.0	
平 均 速 度 (k m / h)		59.3(東行) 60.0(西行)	49.8(東行)	49.4(西行)	37.7(東行) 36.9(西行)		
表 定 速 度 (k m / h)		55.0(東行) 55.0(西行)	38.8(東行)	38.6(西行)	32.1(東行) 31.3(西行)		
最 高 速 度 (k m / h)		75.0	90.0			70.0	
令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)		289				52	
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		863				68	

神戸市高速鉄道路線図

路線名	路線種別	営業キロ	区間	開通時期
西神・山手線	西神延伸線	5.9km	学園都市～西神中央	S62.3.18
		3.5km	名谷～学園都市	S60.6.18
	西神線	5.7km	名谷～新長田	S52.3.13
	山手線	4.3km	新長田～大倉山	S58.6.17
		3.3km	大倉山～新神戸	S60.6.18
計		22.7km	西神中央～新神戸	—
北神線		7.5km	新神戸～谷上	(S63.4.2) R2.6.1
海岸線		7.9km	新長田～和田岬～ 三宮・花時計前	H13.7.7



福岡市

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路線別		延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
										企業債	出資金	その他
空港線 (1号線)	姪浜～博多	11.8	2,676	昭和60年3月3日開通				2,676	227	2,190	243	243
	博多～福岡空港	3.1	571	平成5年3月3日全通				571	184	428	92	51
箱崎線(2号線)		5.2	866	昭和61年11月12日全通				866	167	767	85	14
七隈線 (3号線)	橋本～天神南	12.7	2,811	平成17年2月3日全通				2,811	221	1,653	547	611
	天神南～博多	1.4	457	令和5年3月27日全通				602	430	197	119	286
				142	3	0	0					
合計		34.2	7,381	142	3	0	0	7,526	220	5,235	1,086	1,205

2. 令和7年度事業計画

2- (1) 新線

「計画なし」

2- (3) 建設計画

「計画なし」

2- (2) 営業線

(税込み)

項目	予算額	事業内容
安全・安心	百万円 8,127	新造車両の導入等
快適で質の高い サービス	912	駅のリフレッシュ等
まちづくり・環境配慮	2,896	地下鉄用電力の再エネ由来電力導入割合の 拡大等
事業を支える経営基盤	54	唐人町駅の改札口の増設等
合計	11,989	

福岡市

(福岡市)

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税込み)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均	年間	年間	1日平均		
令和2年度	29.8 キロ	1.1 キロ	3	36 (35)	212 両	110,919 千人	304 千人	594 百万人キロ	20,384,228 千円	55,847 千円	6 両	
令和3年度	29.8	1.1	3	36 (35)	220	122,497	336	651	22,989,234	62,984	6	
令和4年度	31.4	1.1	3	38 (36)	228	145,692	399	761	28,011,687	76,744	6	
令和5年度	31.4	1.1	3	38 (36)	228	176,426	482	879	34,386,906	93,953	6	
令和6年度	31.4	1.1	3	38 (36)	228	191,341	524	－	37,207,332	101,938	6	
令和7年度 定	31.4	1.1	3	38 (36)	234	193,961	531	－	37,733,840	103,380	6	

(注):()は同一駅名を1駅とした場合の駅数

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相 互 (片) 乗 入 者 事 業		自 社 線 内 乗 入 キ ロ 数	他 社 線 内 乗 入 キ ロ 数
空 港 線 (1 号 線)	J R 九 州	13.1	20.1
合 計		13.1	20.1

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受 変 電 圧 (K V)		66	66	66
受 電 個 所 数		7	7	7
使用 電力量 (MWH)	電 車 用	41,505	45,873	44,374
	付 帯 用	46,474	43,740	48,800
	計	87,979	89,613	93,174
	電 気 料 金 (百 万 円)	1,960	1,837	2,223

※電気料金は、税込み

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エ ス カ レ ー タ ー		218 箇所	220 箇所
エ レ ベ ー タ ー		84 箇所	84 箇所
身 障 者 用	ト イ レ	70 箇所	70 箇所
	点 字 券 売 機	148 箇所	148 箇所
	斜 路	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	チャイム等	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	点 字 運 賃 表	47 箇所	47 箇所
基準適合段差解消駅		36 駅	36 駅
自 転 車 置 場	設置駅数	36 駅	36 駅
	収容台数	27,124 台	27,037 台

(注)チャイム等はエレベーター及び地上出入口に
設置している音声案内(専用発信器等を利用)

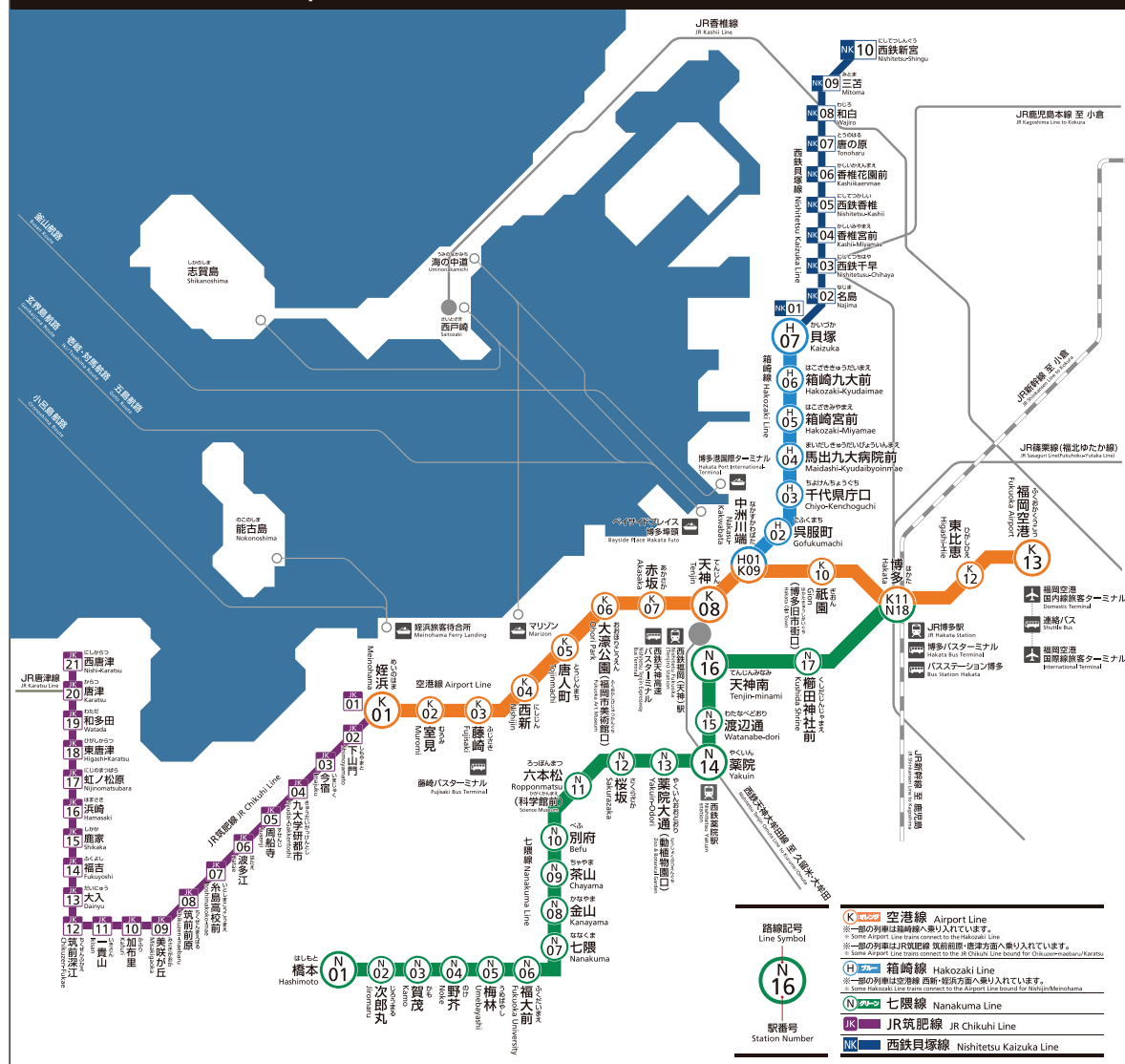
(福岡市)

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		空港線(1号線)	箱崎線(2号線)	七隈線(3号線)
線 区 概 要	営 業 区 間	姪浜～福岡空港	中洲川端～貝塚	橋本～博多
	営 業 キ ロ (k m)	13.1	4.7	13.6
	(地 上 部)	(0.7)	(0.4)	(0.0)
	駅 数 (駅)	13	7(中洲川端含む)	18(博多含む)
	ホームドア(柵) 設置駅数(駅)	13	7	18
軌 間 ・ 電 気	軌 間 (m)	1,067	1,067	1,435
	電 気 方 式 (V)	直流1,500	直流1,500	直流1,500
	集 電 方 式	架空線	架空線	架空線
車 両	保 有 車 両 (車 両)	150		84
	(電 動 車 両)	(106)		(84)
	車 両 長 (m)	20		16.5
	定 員 (人)	134～146		81～100
保 安 装 置	ATS ・ ATC	ATC	ATC	ATC
	列 車 通 信	誘導無線式	誘導無線式	空間波無線式
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	6	6	4
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒) (平 日)			
	朝 混 雑 時	2.50～3.30	7.40	3.00
	昼 間 時	4.50～7.10	7.30	7.30
	夕 混 雑 時	3.20～4.30	7.40	5.00
	運 転 所 要 時 間 (分 ・ 秒)	東行 25.05 西行 24.50	北行 10.05 南行 9.50	東行 28.34 西行 28.26
平 均 速 度 (k m / h)		東行 38.8 西行 39.3	北行 33.5 南行 34.5	東行 36.5 西行 36.7
表 定 速 度 (k m / h)		東行 31.3 西行 31.6	北行 28.0 南行 28.7	東行 28.6 西行 28.7
最 高 速 度 (k m / h)		85.0	85.0	70.0
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		341	38	145
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		596	63	281

(注) 平均輸送人員は乗り継ぎなし。



埼玉高速鉄道株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税込み)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
埼 玉 高 速 鉄 道 線	キロ 14.6	2,561	平 成 13 年 3 月 28 日 全 通				2,561	175	0	610	1,951
合 計	14.6	2,561					2,561	175	0	610	1,951

(注)平成13年3月28日開業

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-2(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
	百万円	
合 計	—	

2-1(3)建設計画

「計画なし」

埼玉
高速

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人		千円	千円	両	
令和2年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	34,033	93	243	6,738,776	18,462	6	
令和3年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	35,377	97	249	7,296,580	19,991	6	
令和4年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	39,430	108	278	8,082,566	22,144	6	
令和5年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	42,654	117	302	8,771,361	23,965	6	
令和6年度	14.6	0.4	1	8 (7)	60	45,035	123	320	9,296,734	25,471	6	
令和7年度 予定	14.6	14.6	1	8 (7)	60	—	—	—	9,398,000	25,748	6	

(注):()は同一駅名を1駅とした場合の駅数

※決算額は税抜き

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
埼玉高速 鉄道線	東京地下鉄	14.6	21.3
	東急電鉄	14.6	17.7
	相模鉄道	14.6	—
	合計	—	39

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込
受変電圧 (KV)		66	66	66
受電箇所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	15,552	15,777	17,536
	付帯用	13,726	13,574	13,676
	計	29,278	29,351	31,212
	電気料金 (百万円)	650	650	679

※電気料金は、税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

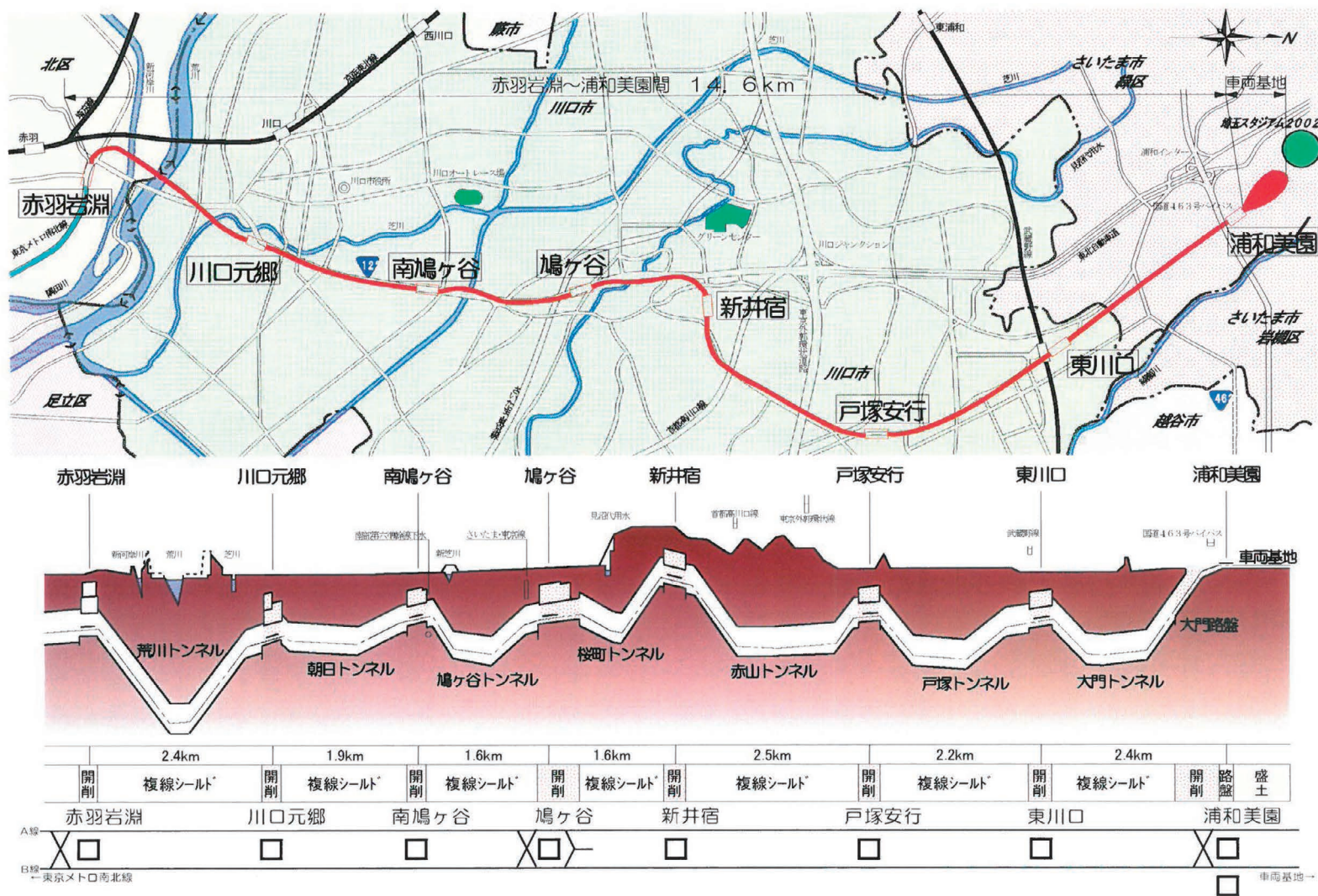
年度 項目		令和6年度		令和7年度 見込	
エスカレーター		46 箇所		46 箇所	
エレベーター		16 箇所		16 箇所	
身障者用	トイレ	9 箇所		9 箇所	
	点字券売機	7 箇所		7 箇所	
	斜路	2 箇所	1 駅	2 箇所	1 駅
	チャイム等 その他	— 箇所	— 駅	— 箇所	— 駅
基準適合段差解消駅		0 駅		0 駅	
自転車 置場	設置駅数	1 駅		1 駅	
	収容台数	274 台		274 台	

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名		埼玉高速鉄道線		
項目				
線区概要	営業区間	赤羽岩淵～浦和美園		
	営業キロ(km)	14.6		
	(地上部)	(0.4)		
	駅数(駅)	7+1(共同使用駅)		
軌間・電気	ホームドア(柵)	7+1(共同使用駅)		
	設置駅数(駅)			
	軌間(m)	1.067		
	電気方式(V)	直流1,500		
車両	集電方式	架空線		
	保有車両(車両)	60		
	(電動車両)	(30)		
	車両長(m)	20		
保安装置	定員(人)	882(1編成当り)		
	ATS・ATC	連続誘導式ATC(CS-ATC)		
	列車通信	空間波無線式システム		
運転概要	編成両数(両)	6		
	運転間隔(分・秒)			
	(平日)			
	朝混雑時	3.45(赤羽岩淵～鳩ヶ谷)		
	(平日)	4.40(鳩ヶ谷～浦和美園)		
	昼間時	12.00(赤羽岩淵～浦和美園)		
平均速度(km/h)	夕混雑時	5.00(赤羽岩淵～浦和美園)		
	運転所要時間(分・秒)	19.15		
令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)	平均速度(km/h)	54.2		
	表定速度(km/h)	45.5		
	最高速度(km/h)	80.0		
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		123		
		320		

埼玉高速鉄道線 赤羽岩淵・浦和美園間 概要図



広島高速交通株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路 線 別	延 長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
広 島 新 交 通 1 号 線	キロ 18.7	788	平 成 6 年 8 月 20 日 全 通				788	42	584	100	104
合 計	18.7	788					788	42	584	100	104

(注)平成13年3月28日開業

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-1(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
旅客サービス	百万円	
安全対策		
その他	3,006	老朽化対策等
合計	3,006	

2-1(3)建設計画

「計画なし」

広島
高速

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人	百万人キロ	千円	千円	両	
令和2年度	18.4	16.5	1	22	150	18,397	50	130	3,367,605	9,226	6	
令和3年度	18.4	16.5	1	22	150	19,420	53	137	3,596,238	9,853	6	
令和4年度	18.4	16.5	1	22	150	21,566	59	152	4,072,537	11,158	6	
令和5年度	18.4	16.5	1	22	150	23,344	64	163	4,377,823	11,961	6	
令和6年度	18.4	16.5	1	22	150	23,974	65	165	4,572,178	12,527	6	
令和7年度 予 定	18.4	16.5	1	22	144	23,817	65	-	4,847,354	13,280	6	

※決算額は税抜き

4. 相互乗入れ運転

〔該当なし〕

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
区分				
受 変 電 圧 (KV)		22	22	22
受 電 個 所 数		2	2	2
使用 電力 量 (MWH)	電 車 用	7,710	7,638	7,690
	付 帯 用	9,205	9,452	9,408
	計	16,915	17,132	16,954
電 気 料 金 (百 万 円)		403	377	376

※電気料金は、税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度		令和6年度	令和7年度 見 込
項目			
エ ス カ レ ー タ ー		43 箇所	43 箇所
エ レ ベ ー タ ー		45 箇所	45 箇所
身 障 者 用	ト イ レ	22 箇所	22 箇所
	点 字 券 売 機	55 箇所	55 箇所
	斜 路	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
	チャイム等 そ の 他	- 箇所 - 駅	- 箇所 - 駅
基準適合段差解消駅		22 駅	22 駅
自 転 車 置 場	設置駅数	19 駅	19 駅
	収容台数	7,020 台	7,020 台

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		広島新交通1号線		
線 区 概 要	営 業 区 間	本 通 ～ 広 域 公 園 前		
	営 業 キ ロ (k m)	18.4		
	(地 上 部)	(16.5)		
	駅 数 (駅)	22		
軌 間 ・ 電 気	ホ ー ム ド ア (柵)	22		
	設 置 駅 数 (駅)			
	軌 間 (m)	—		
	電 気 方 式 (V)	直 流 750		
車 両	集 電 方 式	剛 体 複 線 式		
	保 有 車 両 (車 両)	150		
	(電 動 車 両)	(150)		
	車 両 長 (m)	8.4 ～ 8.6		
保 安 装 置	定 員 (人)	先頭車 43～44,中間 50		
	ATS ・ ATC	連 続 誘 導 式 ATC		
	列 車 通 信	誘 導 無 線 式		
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	6		
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒)			
	(平 日)	2.30 ～ 4.00		
	朝 混 雑 時			
	昼 間 時	10.00		
	夕 混 雑 時	5.00 ～ 7.00		
平 均 速 度 (k m / h)	運 転 所 要 時 間 (分 ・ 秒)	普 通 便 37 ～ 39 分		
表 定 速 度 (k m / h)	平 均 速 度 (k m / h)	38.3		
	表 定 速 度 (k m / h)	30.0		
	最 高 速 度 (k m / h)	60.0		
令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)		65		
令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)		165		

横浜高速鉄道株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
み な と み ら い 21 線	キロ 4.2	2,563	平 成 16 年 2 月 1 日 全 通				2,563	610	1,618	272	673
合計	4.2	2,563					2,563	610	1,618	272	673

(注)平成13年3月28日開業

2. 令和7年度事業計画

2-1(1)新線

「計画なし」

2-1(2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
駅務機器改修	百万円 427	機能追加、老朽化更新他
車両改造	110	車内、車外案内表示器
その他		
合計	537	

2-1(3)建設計画

「計画なし」

横浜
高速

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他社乗入車両)	備考
	営業キロ キロ	内地土部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和2年度	4.1	0	1	6	48	52,049	143	138	6,603,109	18,091	8 (10)	
令和3年度	4.1	0	1	6	48	57,048	156	152	7,598,162	20,817	8 (10)	
令和4年度	4.1	0	1	6	48	68,552	188	181	9,575,181	26,233	8 (10)	
令和5年度	4.1	0	1	6	48	76,523	209	199	11,458,339	31,307	8 (10)	
令和6年度	4.1	0	1	6	48	78,653	215	201	11,795,181	32,316	8 (10)	
令和7年度 予定	4.1	0	1	6	48	78,838	216	201	11,823,821	32,394	8 (10)	

(注):乗車料収入は消費税抜きである。駅数の()内は同一駅名を1駅とした場合の数

※決算額は税抜き

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
みなとみらい線	東武鉄道	4.1 キロ	51.6 キロ
	西武鉄道	4.1	40.3
	東京地下鉄	4.1	20.2
	東急電鉄	4.1	24.2
	合 計	—	136.3

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度 区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
受変電圧 (KV)		20	20	20
受電箇所数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	13,053	13,276	13,442
	付帯用	13,287	13,747	13,785
	計	26,340	27,023	27,227
	電気料金 (百万円)	601	615	689

※電気料金は、税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

年度 項目		令和6年度	令和7年度 見 込
エスカレーター		91 基 6 駅	91 基 6 駅
エレベーター		21 箇所	21 箇所
身障者用	トイレ	14 箇所	14 箇所
	点字券売機	32 箇所	32 箇所
	斜路	— 箇所	— 駅
	チャイム等	— 箇所	— 駅
その他			
基準適合段差解消駅		6 駅	— 駅
自転車 置 場	設置駅数	— 駅	— 駅
	収容台数	— 台	— 台

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

線名 項目		みなとみらい21線		
線 区 概 要	営 業 区 間	横浜～元町・中華街		
	営 業 キ ロ (k m)	4.1		
	(地 上 部)	0		
	駅 数 (駅)	6		
軌 間 ・ 電 気	ホ ー ム ド ア (柵) 設 置 駅 数 (駅)	6		
	軌 間 (m)	1,067		
	電 気 方 式 (V)	直流1,500		
	集 電 方 式	架空線		
車 両	保 有 車 両 (車 両)	48		
	(電 動 車 両)	(24)		
	車 両 長 (m)	20(先頭車20.2)		
	定 員 (人)	141～152/両		
保 安 装 置	ATS ・ ATC	連続誘導式 CS-ATC		
	列 車 通 信	空間波無線式		
運 転 概 要	編 成 両 数 (両)	8両及び10両		
	運 転 間 隔 (分 ・ 秒) (平 日)	3分00秒		
	朝 混 雑 時			
	昼 間 時	3分45秒		
	夕 混 雑 時	3分45秒		
	運 転 所 要 時 間 (分 ・ 秒) (急 行)	上り 6分05秒 下り 6分25秒		
平 均 速 度 (k m / h) (急 行) 表 定 速 度 (k m / h) (急 行) 最 高 速 度 (k m / h)		上り40.4 下り38.3 — 70		
	令 和 6 年 度 1 日 当 り 平 均 輸 送 人 員 (千 人)	215,488		
	令 和 6 年 度 路 線 別 輸 送 人 キ ロ (百 万 人 キ ロ)	201		

みなとみらい21線 路線図



東葉高速鉄道株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
東 葉 高 速 線	キロ 16.1	3,168	平 成 8 年 4 月 27 日 全 通				3,168	197			
合計	16.1	3,168					3,168	197			

2. 令和7年度事業計画

2-1)新線

「計画なし」

2-2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
安全対策	百万円 2,603	CS-ATC化に伴う機器更新、運行管理システム・電力管理システム更新ほか
旅客サービス	599	自動改札機更新、PASMO関連改修ほか
その他	1,909	海老川新駅設置工事ほか
合計	5,111	

2-3)建設計画

「計画なし」

東葉
高速

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 路線名	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他社乗入車両)	備考
	営業キロ キロ	内地上部分 キロ				年間 千人	1日平均 千人		年間 千円	1日平均 千円		
令和2年度	16.2	10.5	1	9	110	42,381	117	382	11,750,386	32,468	10 (10)	
令和3年度	16.2	10.5	1	9	110	44,418	123	394	12,522,696	34,576	10 (10)	
令和4年度	16.2	10.5	1	9	110	50,676	140	449	14,202,694	39,206	10 (10)	
令和5年度	16.2	10.5	1	9	110	54,080	149	481	15,293,930	42,159	10 (10)	
令和6年度	16.2	10.5	1	9	110	56,141	155	499	15,853,116	43,758	10 (10)	
令和7年度 予定	16.2	10.5	1	9	110	56,419	156	-	15,950,000	44,025	10 (10)	

(注): 乗車料収入は消費税抜きである。

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
東葉高速線	東京地下鉄 東西線	16.2 キロ	30.8 キロ
	合 計	16.2	30.8

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見 込
区分				
受 変 電 圧 (KV)		66	66	66
受 電 個 所 数		2	2	2
使用電力量 (MWH)	電車用	17,277	16,578	12,510
	付帯用	11,740	12,467	16,637
	計	29,017	29,045	29,147
電 気 料 金 (百 万 円)		-	-	-

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

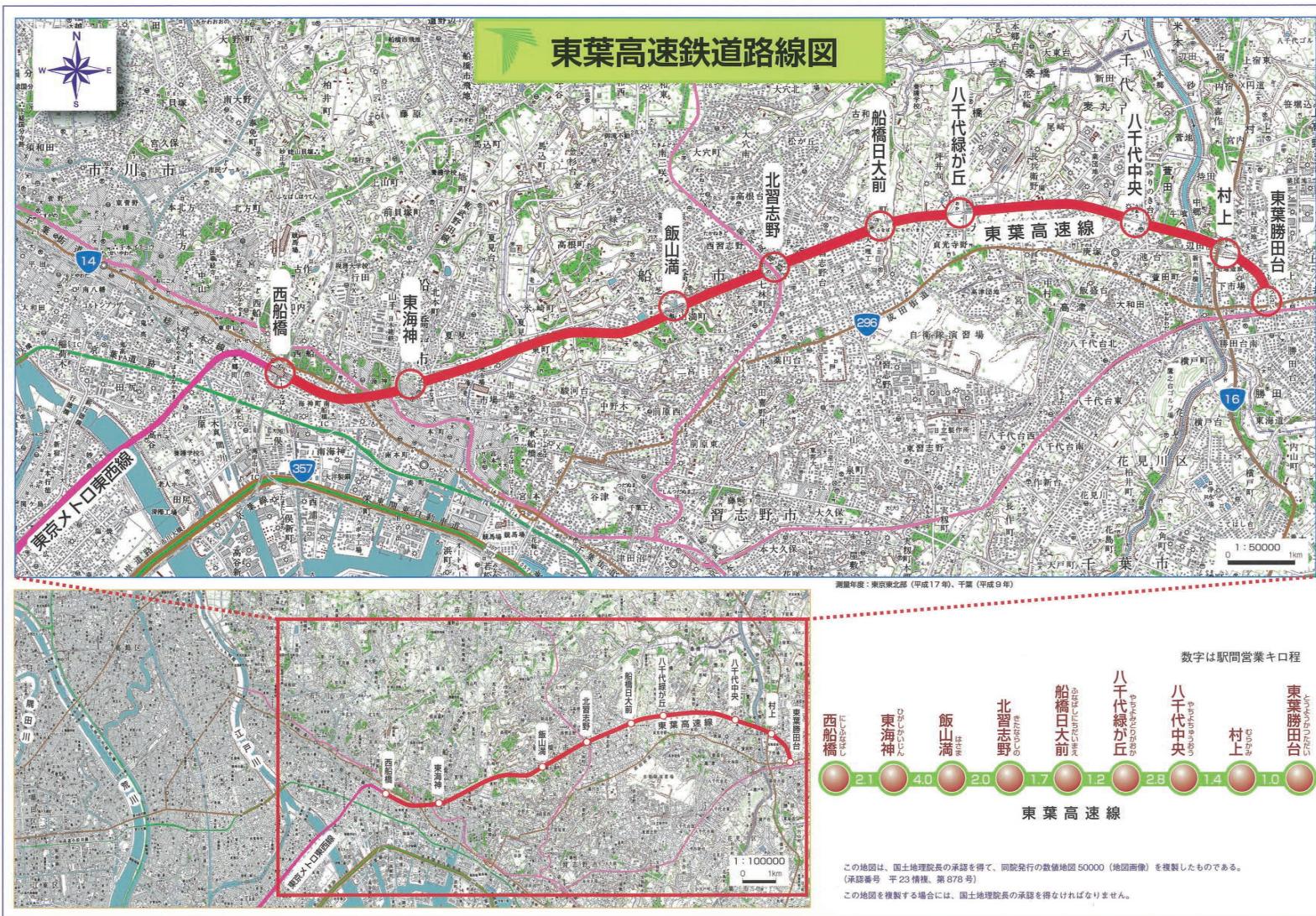
年度		令和6年度	令和7年度 見 込
項目			
エ ス カ レ ー タ ー		28 基	28 基
		8 駅	8 駅
エ レ ベ ー タ ー		16 箇所	16 箇所
身 障 者 用	ト イ レ	9 箇所	9 箇所
	点 字 券 売 機	10 箇所	10 箇所
	斜 路	4 箇所 3 駅	4 箇所 3 駅
	チャイム等	71 箇所 8 駅	71 箇所 8 駅
そ の 他		-	-
基準適合段差解消駅		- 駅	- 駅
自 転 車 置 場	設置駅数	2 駅	2 駅
	収容台数	340 台	340 台

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

項目 \ 線名		東葉高速線		
線区概要	営業区間	西船橋～東葉勝田台		
	営業キロ(km)	16.2		
	(地上部)	10.5		
	駅数(駅)	9		
	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	0		
軌間・電気	軌間(m)	1,067		
	電気方式(V)	直流1,500		
	集電方式	架線方式		
車両	保有車両(車両)	110		
	(電動車両)	55		
	車両長(m)	20		
	定員(人)	143(先頭)、154(中間)		
保安装置	ATS・ATC	WS-ATC		
	列車通信	誘導無線		
運転概要	編成両数(両)	11編成(110両)		
	運転間隔(分・秒) (平日)	5分00秒		
	朝混雑時			
	昼間時	15分00秒		
	夕混雑時	6分00秒		
	運転所要時間(分・秒) (急行)	21分00秒 (－)		
	平均速度(km/h)	53.3		
	(急行)	(－)		
	表定速度(km/h)	44.2		
	(急行)	(－)		
	最高速度(km/h)	100		
	令和6年度1日当り 平均輸送人員(千人)	156		
令和6年度路線別 輸送人キロ(百万人キロ)		499		

※「電動車両」には、制御電動車を含む。



北総鉄道株式会社

1. 地下鉄の建設費

(単位:億円)(税抜き)

路 線 別	延長	令和3年度 までの累計	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 以降	建設費 総額	キロ当り 建設費	建設費財源		
									企業債	出資金	その他
北 総 線	キロ 20.2	1,437	平 成 3 年 3 月 31 日 全 通				1,437	71	1,391		46
合計	20.2	1,437					1,437	71	1,391		46

2. 令和7年度事業計画

2-1)新線

「計画なし」

2-1(3)建設計画

「計画なし」

2-2)営業線

(税抜き)

項目	予算額	事業内容
	百万円	
合計	—	

北総
鉄道

3. 輸送人員等の推移

(令和7年4月1日現在)

区分 年度	営業キロ		路線数	駅数	保有車両数	輸送人員		輸送人キロ 百万人キロ	乗車料収入(税抜き)		最多編成 車両数 (他車乗入車両)	備考
	営業キロ	内地上部分				年間	1日平均		年間	1日平均		
	キロ	キロ			両	千人	千人		千円	千円	両	
令和2年度	32.3	28.9	1	15	104	30,030	82	377	9,471,519	25,949	8 (8)	
令和3年度	32.3	28.9	1	15	104	30,944	85	383	10,103,418	27,681	8 (8)	
令和4年度	32.3	28.9	1	15	104	35,314	97	439	10,446,705	28,621	8 (8)	
令和5年度	32.3	28.9	1	15	104	38,625	106	476	10,530,906	28,773	8 (8)	
令和6年度	32.3	28.9	1	15	104	40,780	112	498	11,044,333	30,258	8 (8)	
令和7年度 予定	32.3	28.9	1	15	104	41,498	114	-	11,232,529	30,774	8 (8)	

(注):乗車料収入は消費税抜きである。

4. 相互乗入れ運転

(令和7年4月1日現在)

相互(片)乗入 事業業者		自社線内 乗入キロ数	他社線内 乗入キロ数
北総線	京成電鉄	32.3	6.9
	東京都交通局	32.3	18.3
	京浜急行電鉄	32.3	15.7
	合計		40.9

5. 電力使用状況

(令和7年4月1日現在)

区分 年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度 見込
受変電圧 (KV)		140	140	140
		60	60	60
受電箇所数		6	6	6
使用電力量 (MWH)	電車用	40,845	42,154	41,585
	付帯用	7,978	7,933	8,001
	計	48,823	50,087	49,586
電気料金 (百万円)		1,073	1,056	976

※電気料金は税抜き

6. 駅施設

(令和7年4月1日現在)

項目 年度		令和6年度	令和7年度 見込
エスカレーター		28 基	28 基
		11 駅	11 駅
エレベーター		33 箇所 (33基14駅)	33 箇所 (33基14駅)
身体障害者 トイレ		14 箇所 (14基14駅)	14 箇所 (14基14駅)
	点字券売機	14 箇所 (31台14駅)	14 箇所 (31台14駅)
	斜路	13 箇所 7 駅	13 箇所 7 駅
	チャイム等	155 箇所 14 駅	155 箇所 14 駅
	その他		
基準適合段差解消駅		14 駅	14 駅
自転車 置場	設置駅数	14 駅	14 駅
	収容台数	- 駅	- 駅

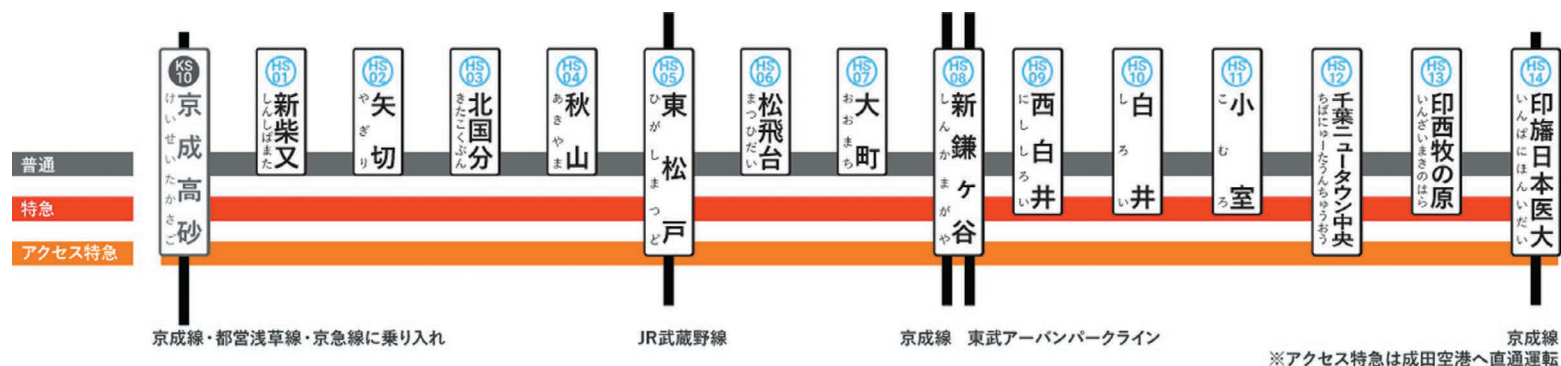
(注)上記は、京成高砂駅を除く14駅の整備状況。

7. 営業線の概要

(令和7年4月1日現在)

項目 \ 線名		北総線		
線区概要	営業区間	京成高砂～印旛日本医大間		
	営業キロ(km)	32.3		
	(地上部)	28.903		
	駅数(駅)	15		
	ホームドア(柵)設置駅数(駅)	なし		
軌間・電気	軌間(m)	1,435		
	電気方式(V)	直流1,500		
	集電方式	架空単線式		
車両	保有車両(車両)	104	うち京成電鉄からの賃借車両24両 千葉ニュータウン鉄道保有車両40両 (千葉ニュータウン鉄道保有車両のうち8両は京成電鉄からの賃借車両)	
	(電動車両)	78	うち京成電鉄からの賃借車両18両 千葉ニュータウン鉄道保有車両30両 (千葉ニュータウン鉄道保有車両のうち6両は京成電鉄からの賃借車両)	
	車両長(m)	18		
	定員(人)	最大136		
保安装置	ATS・ATC	1号型ATS、C-ATS		
	列車通信	空間波方式		
運転概要	編成両数(両)	8		
	運転間隔(分・秒) (平日)	普通10.00 特急20.00		
	朝混雑時	普通20.00		
	昼間時	普通10.00～20.00		
	夕混雑時	特急60.00		
	運転所要時間(分・秒) (急行)	特急29.30(上り)、29.40(下り) 普通34.40(上り)、35.10(下り)		
平均速度(km/h) (急行)		特急73.4(上り)、72.4(下り) 普通64.4(上り)、63.4(下り)		
	表定速度(km/h) (急行)	特急65.7(上り)、65.3(下り) 普通55.9(上り)、55.1(下り)		
	最高速度(km/h)	105		
令和6年度1日当り平均輸送人員(千人)		112		
令和6年度路線別輸送人キロ(百万人キロ)		498		

(注)「電動車両」には、制御電動車を含む。



地下鉄関係等国の予算

(国土交通省)

(総 務 省)

地下鉄及び空港アクセス鉄道等補助対象事業の現状

(令和7年4月1日)

区分	補助対象事業者	営業キロ (km)		建設路線	建設区間	建設キロ (km)		開業予定
地下高速鉄道	札幌市	3 線	48.0	有楽町線 南北線	豊洲～東陽町～住吉 品川～白金高輪	1 線 4.8 1 線 2.5		2030年代半ば 2030年代半ば
	仙台市	2 線	28.7					
	東京都	4 線	109.0					
	東京地下鉄	9 線	195.0					
	横浜市	3 線	37.8					
	名古屋	6 線	93.2					
	名古屋市	2 線	31.2					
	大阪市高速電気軌道(株)	8 線	129.9					
	神戸市	3 線	21.2					
	広島高速交通(株)	1 線	0.3					
	福岡市	3 線	31.2					
	埼玉高速鉄道(株)	1 線	14.6					
	上飯田連絡線(株)	1 線	3.1					
	中之島高速鉄道(株)	1 線	3.0					
	西大阪高速鉄道(株)	1 線	3.8					
	合 計	48 線	750.0			2 線 7.3		
空港アクセス鉄道等	神戸市	1 線	9.4					
	大阪府都市開発(株)	1 線	14.3					
	(泉北高速鉄道(株))							
	横浜市	2 線	15.7					
	奈良生駒高速鉄道(株)	1 線	8.6					
	中部国際空港連絡鉄道(株)	1 線	4.2					
	仙台空港鉄道(株)	1 線	7.1					
	成田高速鉄道アクセス(株)	1 線	10.7					
	合 計	8 線	70.0					

(注)東京地下鉄副都心線及び京都市東西線(二条～太秦天神川)は、平成15年度からインフラ部を街路事業により整備

令和7年度 鉄道局関係予算施策別概要

単位: 百万円

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
I. 豊かな田園都市国家を支える交通インフラの整備の推進			
1. 整備新幹線の整備の推進			
(1) 整備新幹線の着実な整備 (整備新幹線整備事業費補助)	265,800	80,372	我が国の基幹的な高速輸送体系を形成する整備新幹線について、着実に整備を進める。
(2) 整備新幹線の建設推進及び高度化等 ① 北陸新幹線事業推進調査 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金)	1,450	1,450	これまで先行的・集中的に行ってきた施工上の課題を解決するための調査につき、着工への準備として、小浜市(東小浜)附近駅を始めとした南北案と桂川案で共通の箇所の実地調査を図るとともに、科学的知見に基づいた情報発信やそのための体制強化等による沿線地域の理解促進、いわゆる着工5条件の確認、環境影響評価手続に必要な調査等を行う。
② 青函共用走行区間における新幹線列車の高速走行調査・開発 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金) 令和6年度補正予算 国費: 80 百万円	20	20	新幹線列車と貨物列車とが共用走行する青函共用走行区間において、安全性を確保しつつ新幹線列車を高速走行させるため、時間帯区分方式の段階的拡大の可能性に係る調査・開発等を行う。
③ トンネル工事の施工性向上に資する研究開発 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金) 令和6年度補正予算 国費: 53 百万円			整備新幹線のトンネル工事において、工程遅延リスクを低減し、工程短縮に向けた施工性向上に資する新技術の活用・普及のための研究開発を行う。
④ 経済設計高度化調査 (整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金)	133	133	整備新幹線に関する経済効果や輸送量、今後の需要動向等の高度化調査を行う。
(3) 幹線鉄道ネットワーク等に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		189の内数	基本計画路線及び幹線鉄道ネットワークの地域の実情に応じた諸課題について方向性も含め検討するため、効果的・効率的な整備・運行手法等に係る具体的な調査を行う。
2. 都市鉄道ネットワークの充実			
(1) 既存の都市鉄道網を活用した連絡線の整備等 (都市鉄道利便増進事業費補助(速達性向上事業))	90	30	都市鉄道は、大都市における社会経済活動を根幹で支える主要なインフラであることから、路線間の連絡線の整備や相互直通化、地下鉄の整備等を推進し、都市鉄道ネットワークの充実や一層の利便性向上を図ることにより、大都市の活性化や競争力の強化を進める。
○ 新空港線の整備			都市鉄道の路線間の連絡線整備や相互直通化を進め、既存の都市鉄道施設を有効活用しつつ、都市鉄道ネットワークの一層の充実を図る。
(2) 地下高速鉄道ネットワークの充実 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和6年度補正予算 国費: 1,906百万円の内数	60,575の内数	15,264の内数	京浜東北線、東急多摩川線及び東急池上線の蒲田駅と京急蒲田駅間のミッシングリンクを解消し、東急東横線等との相互直通運転を通じて、国際競争力強化の拠点である新宿、渋谷、池袋等や東京都西北部・埼玉県南西部と羽田空港とのアクセス利便性の向上を図る。
① なにわ筋線の整備			大都市圏中心部における移動の円滑化、通勤・通学混雑の緩和等を図るため、地下高速鉄道ネットワークの充実を推進する。
② 東京メトロ有楽町線(豊洲～住吉)の延伸整備			大阪都心部を南北に縦貫する新線を整備し、既存の鉄道路線と接続させることにより、関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性の向上、大阪の南北都市圏の強化など、都市機能の一層の充実を図る。
③ 東京メトロ南北線(品川～白金高輪)の延伸整備			令和3年7月交通政策審議会答申第 371 号に基づき、国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部を結ぶ新線を整備することにより、臨海副都心と都区部東部等とのアクセス利便性の向上や東西線の混雑緩和など都市機能の一層の充実を図る。
(3) 列車遅延対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和6年度補正予算 国費: 1,906百万円の内数	60,575の内数	15,264の内数	同答申に基づき、六本木等都心部とリア中央新幹線の始発駅となる品川駅を結ぶ新線を整備することにより、都市中心部の移動の円滑化や国際競争力強化の拠点である品川駅周辺地区と都心部とのアクセス利便性の向上など都市機能の一層の充実を図る。
(4) 東京圏における今後の都市鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		189の内数	高密度ダイヤの運行や相互直通運転化に伴う慢性的な列車遅延の増加等に対処するため、ホーム拡幅、折返施設等の整備を推進する。
			交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」(平成28 年4月 20 日)において示された、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿の実現に向け、諸般の社会情勢を踏まえた調査及び検討を行う。また、今後の国際拠点空港等の需要増に対応するため、空港アクセス鉄道構想の事業性等について調査を行う。

区 分			事業概要等
	事業費	国費	
Ⅱ. デジタル田園都市国家構想の実現に向けた持続可能性と利便性の高い地域交通ネットワークの再構築の推進 1. 鉄道事業者と地域の共創に対する支援 （危機的状況にあるローカル鉄道に係る地域モビリティの刷新） [社会資本整備総合交付金487,410 百万円の内数] 令和6年度補正予算 国費：61,159百万円の内数 （地域公共交通再構築事業、都市・地域交通戦略推進事業（※）） [総合政策局予算 20,905 百万円の内数] （地域公共交通確保維持改善事業） 令和6年度補正予算 国費：32,600百万円の内数			ローカル鉄道の中には、人口減少等による長期的な需要減に加え、新型コロナの影響等も重なり、鉄道事業者の経営努力のみによっては、持続可能性と利便性の高いサービスの維持が困難な線区が出てきている。 こうした状況を踏まえ、地域交通法に基づき、必要な場合には国も主体的に閣しながら、鉄道事業者と沿線自治体の共創を促し、単なる現状維持ではなく、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進していくための支援を行う。 具体的には、鉄道事業者、沿線自治体等の関係者による再構築に向けた協議会の開催、調査事業、実証事業の実施に際する費用を支援する。 さらに、地域における協議・合意形成の過程を経て、地域が鉄道又は転換後のバス（BRT 含む）を地域の社会資本の一端として位置づけ、まちづくり観光戦略の観点からその持続可能性と利便性・効率性を将来にわたって向上させるための取組みを主体的に実施する場合には、 ・社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業） ・先進車両導入支援事業 等により支援を行う。 この他、社会資本整備総合交付金（都市・地域交通戦略推進事業）等において、立地適正化計画に位置づけられた都市の骨格となる公共交通軸を形成する、鉄道・LRT・BRT等の走行空間（レール・乗線等）の整備等を支援する。 （※）社会資本整備総合交付金は、地方公共団体が自ら作成した整備計画に対して、国が配分を行い、計画内の各事業については、地方公共団体が自由に配分することができるため、基幹事業毎の明確な予算規模は無い。
2. 地域の鉄道の安全性・利便性の向上の促進 （1）地域の鉄道の安全性の向上 （鉄道施設総合安全対策事業費補助） 令和6年度補正予算 国費：6,863 百万円の内数 [総合政策局予算 20,905 百万円の内数] （地域公共交通確保維持改善事業） 令和6年度補正予算 国費：32,600 百万円の内数	13,706の内数	4,529の内数	通勤・通学・通院のための利用など地域にとって欠くことのない公共交通機関である地域の鉄道等において、安全な鉄道輸送を確保するために行うレールやマクラギの更新、信号保安設備の整備など安全性の向上に資する設備の整備等に対して支援を行う。
（2）地域の鉄道の利便性の向上・利用環境の改善 [観光庁予算：620 百万円の内数] （地域における乗入環境整備促進事業） 令和6年度補正予算 国費：15,820 百万円の内数 [観光庁予算：670 百万円の内数] （公共交通利用環境の革新等）			訪日外国人旅行者等の利用者の移動に係る利便性向上や利用環境の改善を促進するため、インバウンド対応型鉄軌道車両の整備、低床式車両の導入を始めとするLRTシステムの整備及びICカードシステムの導入等に対して支援を行う。
（3）JR北海道、JR四国及びJR貨物の経営支援 【鉄道建設・運輸施設整備支援機構特例業務勘定】			JR北海道、JR四国及びJR貨物について、それぞれの経営自立に向けた取組みを進めるため、厳しい経営環境を踏まえつつ、必要な支援を実施する。
3. 鉄道駅におけるバリアフリー化等の推進 （1）鉄道駅におけるバリアフリー化の推進 （都市鉄道整備事業費補助（地下高速鉄道）） 令和6年度補正予算 国費：1,906 百万円の内数 （鉄道駅総合改善事業費補助） 令和6年度補正予算 国費：35 百万円の内数 [総合政策局予算：20,905 百万円の内数] （地域公共交通確保維持改善事業） 令和6年度補正予算 国費：32,600 百万円の内数	60,575の内数	15,264の内数	地域住民の日常生活や観光の拠点となっている鉄道駅において、エレベーター等の設置による段差解消、内方線付き点状ブロックの設置による転落防止、バリアフリートイレの設置等を推進し、ユニバーサル社会の実現や快適な旅行環境の整備を図る。
[観光庁予算：670 百万円の内数] （公共交通利用環境の革新等）	5,444の内数	2,056の内数	また、地方部における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1／3から最大1／2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る（鉄道駅総合改善事業費補助）。

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
(2)ホームドアの更なる整備促進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) (鉄道駅総合改善事業費補助) (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 6.863百万円の内数	60,575の内数 5,444の内数 13,706の内数	15,264の内数 2,056の内数 4,529の内数	ホームにおける転落・接触等は、視覚障害者のみならず一般利用者においても多く発生している。転落・接触等の防止効果の高いホームドアについて、一般利用者を含めた全ての利用者の安全性の向上を図るための施設として、更なる整備を促進する。 また、地方駅における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3 から最大1/2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る(鉄道駅総合改善事業費補助及び鉄道施設総合安全対策事業費補助)。
(3)駅空間の質的進化(次世代ステーション創造事業) (鉄道駅総合改善事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 39 百万円の内数	5,444の内数	2,056の内数	駅空間の質的進化を目指し、まちとの一体感があり、全ての利用者にやさしく、分かりやすく、心地よく、ゆとりある次世代ステーションの創造を図るため、駅改良と併せて行うバリアフリー施設、駅空間高度化機能施設の整備について支援する。 また、地方部における支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3 から最大1/2に拡充しており、これを活用し、鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る。
Ⅲ. 防災・減災、国土強靱化への投資の加速化			
1. 耐震・豪雨・浸水・老朽化対策の推進			
(1)耐震対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和6年度補正予算 国費: 1,906 百万円の内数 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 6.863百万円の内数	60,575の内数 13,706の内数	15,264の内数 4,529の内数	「新幹線の地震対策に関する検証委員会」における中間とりまとめを踏まえ、令和5年3月に改正した特定鉄道等施設に係る耐震補強に関する省令等に基づき、首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震に備え、地震時における鉄道利用者の安全確保等を図るため、主要駅や高架橋等の耐震対策を推進するとともに、地下鉄のトンネル等の耐震対策を引き続き推進する。
(2)豪雨対策の推進 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 6.863百万円の内数	13,706の内数	4,529の内数	激甚化・頻発化する豪雨災害から鉄道施設を防護し、貨物鉄道ネットワークも含めた鉄道の安全・安定輸送を確保するため、河川に架かる鉄道橋梁の流失・傾斜対策や、鉄道に隣接する斜面からの土砂流入防止対策を推進する。
(3)地下駅等の浸水対策の推進 (都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)) 令和6年度補正予算 国費: 1,906 百万円の内数 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 6.863百万円の内数	60,575の内数 13,706の内数	15,264の内数 4,529の内数	三大都市圏をはじめとする大都市圏では、地下駅等の地下空間が数多く存在し、河川の氾濫や津波等が発生した場合、深刻な浸水被害が懸念される。 地下駅等の地下空間は、地上に比べ浸水のスピードが速く、一旦浸水が始まれば、利用客の避難が困難となり、鉄道の運行にも大きな影響が発生することが想定される。 このため、各地方公共団体が定めるハザードマップ等により浸水被害が想定される駅出入口、トンネル坑口、換気口等の開口部、トンネル内及び電気設備について、浸水対策を推進し、防災・減災機能の強化を図る。
(4)戦略的なメンテナンス・老朽化対策の推進 ①鉄道施設の戦略的な維持管理・更新 (鉄道施設総合安全対策事業費補助) 令和6年度補正予算 国費: 6.863百万円の内数	13,706の内数	4,529の内数	鉄道の橋梁やトンネル等については、老朽化が進んでおり、これらの鉄道施設を適切に維持管理することが課題となっている。このため、地域の人口減少が進み経営環境が厳しさを増す地方の鉄道事業者に対して、鉄道事業の継続性等を確認した上で、将来的な維持管理費用を低減し長寿命化に資する鉄道施設の改良を支援する。 また、地域鉄道において、脱線事故が多発していることを踏まえ、広域的・戦略的なインフラメンテナンス実現に向け、鉄道事業者の技術力向上、検査業務体制の再構築を支援する。
②青函トンネルの機能保全 (鉄道防災事業費補助)	1,466の内数	923の内数	青函トンネルは、延長約54 kmの我が国最長の海底トンネルであり、北海道と本州を結ぶ唯一の陸路である。昭和63年の開通から30年以上が経過しており、湿度が高く、塩水が浸入する海底下という過酷な環境にあるため、青函トンネル特有の設備である火災検知装置や大型排水設備等の著しい劣化に加え、トンネル(先導導坑・作業坑)の変状が発生している。 これらの設備の改修・更新等を計画的に実施することにより、青函トンネルの機能を適切に保全し、北海道と本州間の円滑かつ安定した人流・物流を確保する。
(5)事故防止のための踏切保安設備の整備促進 (鉄道施設総合安全対策事業費補助)	13,706の内数	4,529の内数	踏切道における事故防止と交通の円滑化を図るため、踏切道改良促進法に基づき、遮断機や警報機等の踏切保安設備の整備(第4種踏切の第1種化等)を推進する。 また、高齢者等の歩行者の踏切道事故を防止するための障害物検知装置や非常押しボタン等に加え、災害時に踏切道の状況を確認できるようにするための踏切監視用カメラ等の整備を推進する。 加えて、第4種踏切を横断する歩行者の安全対策の観点から、安全対策を簡易かつ効果的に実施できる設備の導入を支援する。
(6)海岸等保全、落石・なだれ等対策の推進 (鉄道防災事業費補助)	1,466の内数	923の内数	旅客会社等が行う海岸等保全や落石・なだれ等対策に係る施設整備のうち、鉄道施設だけでなく、家屋、道路、耕地等の保全・保護にも資する事業を推進する。
2. 鉄道の災害復旧の支援			
(1)鉄道軌道整備法等による鉄道の災害復旧支援 (鉄道施設災害復旧事業費補助)	4,000の内数	1,000の内数	鉄道軌道整備法等に基づく災害復旧事業費補助により、地震や豪雨などの災害で被災した鉄道の早期復旧を支援する。また、特に大規模な災害で甚大な被害を受けた鉄道については、特別な支援制度(事業構造の変更等の要件を満たすことを前提として補助率を嵩上げ)により、復旧を強力に支援する。

区 分	事業費		事業概要等
	事業費	国費	
(2)災害発生時における復旧支援 (鉄道建設・運輸施設整備支援機構建設勘定運営費交付金)			独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備機構が有する技術力等を活用し、地方運輸局と連携して、災害により被災した鉄道施設の災害復旧を支援する。
IV. 鉄道分野におけるGX、DXへの投資の加速化			
1. 鉄道資産を活用したGXの投資加速化			
(1)鉄道分野のCN加速化に関する調査 (鉄道整備等基礎調査委託費等)		188の内数	「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」を踏まえ、鉄道車両の脱炭素化、鉄道資産を活用した再エネ導入や沿線地域と連携したグリーン電力の地産地消、鉄道利用によるCO2排出削減効果の見える化等の施策を推進するため、必要な調査・検討を行う。
(2)鉄道脱炭素施設等の実装に係る調査に対する支援 (鉄道技術開発費補助金(鉄道脱炭素施設等実装調査)) 令和6年度補正予算 国費:75 百万円の内数	8	4	鉄軌道事業者等によるカーボンニュートラル実現に向けた先進的な取組を推進するため、鉄軌道事業者等に対して、鉄道脱炭素に資する施設等の整備等(例:再エネ等に係る発電設備、蓄電池、送電線の整備)に関する調査・検討に必要な経費の一部を補助する。
(3)鉄道脱炭素施設等の整備促進[環境省連携事業(エネルギー特別会計)]			2050年カーボンニュートラルの実現に向け、鉄道脱炭素に資する施設等の整備等を支援する。鉄軌道事業者に対して、電力消費を大幅に抑える設備・機器の整備に係る経費の一部を補助する。
2. 物流革新に向けた貨物鉄道ネットワークの強化と更なる活用	1.1111E+99		
(1)貨物駅・ネットワークの災害対応能力を含む機能強化の促進 (幹線鉄道等活性化事業費補助) 令和6年度補正予算 国費:216百万円の内数 (鉄道施設総合安全対策事業費補助)	67の内数 13.706の内数	20の内数 4,529の内数	近年、自然災害の激甚化・頻発化による、鉄道貨物輸送の長期不通が頻繁に発生し、荷主離れを招いていることから、長期不通が発生した場合においても、迅速、かつ、安定的に代行輸送を実施できる体制を確立するため、特に脆弱な区間を対象に、代行輸送の拠点となる貨物駅における円滑な積替えを可能とするための施設整備を計画的に推進する。 また、豪雨等の災害による長期不通が発生しないよう、脆弱箇所について、事前防災対策を推進するなど、輸送障害に強い貨物鉄道ネットワークを構築する。
(2)鉄道へのモーダルシフトの強力な促進 (幹線鉄道等活性化事業費補助) 令和6年度補正予算 国費:216 百万円の内数 (鉄道整備等基礎調査委託費等) 国費:189百万円の内数 (モーダルシフト加速化事業) 令和6年度補正予算 物流・自動車局予算 国費:1,500百万円の内数	67の内数	20の内数	①輸送力の増強、積替え円滑化のための貨物駅の施設整備等の加速化 貨物鉄道輸送においては、これまで12tの小型コンテナを中心に取扱ってきたが、鉄道へのモーダルシフトを強力に促進するためには、大型で10tトラックからの積替えが容易な「31tコンテナ」の取扱いを拡大していく必要がある。 このため、輸送需要が高まることが見込まれる貨物駅において、コンテナホームの拡幅等の施設整備等を行い、貨物鉄道の輸送力増強を図る。 また、モーダルシフトを強力に促進するため、先進的な取組みを行う際の大型コンテナ等の導入経費を支援する。 ②新幹線による貨物輸送拡大の可能性に関する調査等 新幹線による貨物輸送の更なる拡大可能性の検証等、「今後の鉄道物流の在り方に関する検討会」の中間とりまとめに基づく取組の実施、2024年度の輸送 動向をはじめとする各種データの収集等のフォローアップ等を行う。
3. 鉄道のスマート化を促進するためのDXの推進 (鉄道技術開発費補助金(一般鉄道技術開発)) 令和6年度補正予算 国費:207百万円の内数 (鉄道技術開発費補助金(一般鉄道技術開発)) 国費:10百万円の内数 (技術研究開発委託費(鉄道技術開発・普及促進制度)) 令和6年度補正予算 国費:442百万円の内数	500の内数	25の内数	生産性向上、特に経営の厳しい地域鉄道等の維持コスト削減、人手不足対策等の観点から、デジタル技術を活用した現場業務の効率化・省力化に資する技術開発を推進する。 例:鉄道車両における屋根上検査業務の自動化に向けた画像解析手法の開発 例:鉄道線路内のまくらぎ交換作業等の省力化を目的とした汎用双腕ロボットバックホウの開発

国土交通省

令和7年度 鉄道局関係予算 総括表

1. 鉄道局関係予算 事業費・国費総括表

(単位:百万円)

区 分	事業費			国 費			令和6年度 補正予算	令和7年度 予算額 + 6年度補正 (F=G+E)	倍率 (F/D)	備 考
	令和7年度 予算額 (A)	令和6年度 予算額 (B)	倍率 (A/B)	令和7年度 予算額 (C)	令和6年度 予算額 (D)	倍率 (C/D)				
【公共事業関係費】										
〔整備新幹線〕										
1. 整備新幹線整備事業費補助	265,800	227,500	1.17	80,372	80,372	1.00	-	80,372	1.00	
〔都市・幹線鉄道〕										
2. 都市鉄道利便増進事業費補助	81,348	80,317	1.01	22,822	22,822	1.00	9,020	31,842	1.40	
3. 都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道)	90	4,200	0.02	30	1,400	0.02	-	30	0.02	
4. 幹線鉄道等活性化事業費補助	60,575	55,019	1.10	15,264	13,864	1.10	1,906	17,170	1.24	
5. 鉄道駅総合改善事業費補助	67	67	1.00	20	20	1.00	214	236	11.80	
6. 鉄道防災事業費補助	5,444	6,070	0.90	2,056	2,101	0.98	35	2,091	1.00	
7. 鉄道施設総合安全対策事業費補助	1,466	1,466	1.00	923	923	1.00	-	923	1.00	
小 計	13,706	13,495	1.02	4,529	4,514	1.00	6,863	11,392	2.52	
小 計	347,148	307,817	1.13	103,194	103,194	1.00	9,020	112,214	1.09	
〔災害復旧〕										
8. 鉄道施設災害復旧事業費補助	4,000	4,000	1.00	1,000	1,000	1.00	-	1,000	1.00	
小 計	4,000	4,000	1.00	1,000	1,000	1.00		1,000	1.00	
＜関連事項＞										
社会資本整備総合交付金(地域公共交通再構築事業)				487,410の内数	506,453の内数		61,159の内数			
【その他事項経費】										
1. 鉄道技術開発費補助金	58	67	0.87	29	33	0.87	282	311	9.33	
・一般鉄道技術開発	50	57	0.88	25	28	0.88	207	232	8.18	
・鉄道脱炭素施設等実施調査	8	10	0.80	4	5	0.80	75	79	15.80	
2. 技術研究開発委託費	-	-	-	10	20	0.50	442	452	22.44	
3. 整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金	1,603	1,603	1.00	1,603	1,603	1.00	133	1,736	1.08	
4. 鉄道整備等基礎調査委託費等	-	-	-	189	246	0.77	-	189	0.77	
5. 経済協力調査委託費	-	-	-	195	255	0.76	-	195	0.76	
6. その他	-	-	-	33	43	0.77	-	33	0.77	
小 計	1,661	1,669	0.99	2,059	2,200	0.94	857	2,915	1.33	
合 計	352,809	313,486	1.13	106,253	106,394	1.00	9,877	116,129	1.09	
＜ 関連事項 ＞										
地域公共交通確保維持改善事業				20,905の内数	21,405の内数	-	32,600の内数	-	-	
モーダルシフト加速化事業				-	-	-	1,500の内数	-	-	
地域における受入環境整備促進事業				620の内数	1,350の内数	-	15,820の内数	-	-	
公共交通利用環境の革新等				670の内数	500の内数	-	-	-	-	

2. 鉄道局関係 財政投融资計画総括表

区 分	事業費		
	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	倍率 (A/B)
【機関名】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	4,210	21,700	0.19

- (注)
- 【その他事項経費】の小計は、旅費、庁費類の一般事務費等を含んでいない。
 - 端数処理により、計は一致しない場合がある。
 - 財政投融资計画は、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の鉄道整備に係る業務分である。

総務省

令和7年度 地方債計画計上額（交通事業）

（単位：億円）

項目	年度		増(△)減 B-A
	令和6年度 計画額 (A)	令和7年度 計画額 (B)	
・地下鉄等分	1,168	986	△ 182
・第三セクター鉄道事業分	128	158	30
・地下鉄事業資本費平準化債	105	62	△ 43
・地下鉄事業特例債	72	61	△ 11
・資本費負担緩和債	29	25	△ 4
・地下鉄経営健全化出資債	0	0	0
・自動車運送事業等(旧一般交通事業)	206	177	△ 29
・脱炭素化推進事業	53	94	41
・経営改善推進事業	-	19	19
・公営企業施設等整理債	0	1	1
・公営企業会計適用債	2	1	△ 1
交通事業 合計	1,763	1,584	△ 179

- (注1) 平成18年度地方債計画から都市高速鉄道事業及び一般交通事業を統合して交通事業としている。
- (注2) 計画額については当初の計画額
- (注3) 公営企業デジタル活用推進事業債についても同意等を予定

資金区分

（単位：億円）

区分	財融	機構	市場	銀行等	計
令和6年度	118	265	999	381	1,763
令和7年度	78	217	1,118	171	1,584

資 料

- 地下鉄営業路線の現況
- 三大都市圏内交通機関別旅客輸送人員の推移
- 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別事業者別輸送人員の推移
- 東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別営業キロの推移
- 一日当たりの輸送人員の推移（令和2年度～令和6年度）

◎地下鉄営業路線の現況

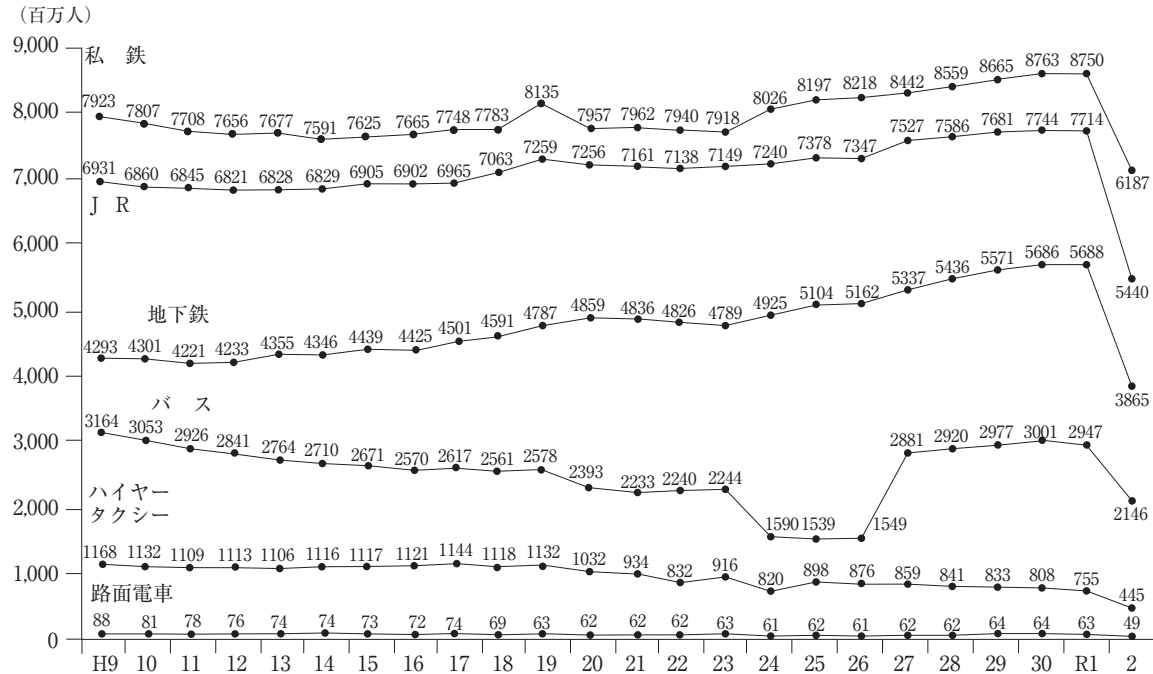
(令和7年4月1日現在)

都市名	企業名	地下鉄営業キロ			地下鉄への乗り入れキロ		
		路線名	区間	営業キロ	路線名	区間	乗り入れキロ
札幌市	札幌市交通局	南北線(1)	麻生～真駒内	14.3			
		東西線(2)	宮の沢～新さっぽろ	20.1			
		東豊線(3)	東町～稲佐	13.6			
	計			48.0			
仙台市	仙台市交通局	南北線	泉中央～宮沢	14.8			
		東西線	八木山動物公園～荒井	13.9			
	計			28.7			
東京・その他	東京地下鉄(株)	日比谷線(2)	北千住～中目黒	20.3	埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6
		有楽町線(3)	浅草～赤谷	14.2			
		丸の内線(4)	池袋～有楽町	24.2			
			中野坂上～方南町	3.2			
		東西線(5)	中野～西船橋	30.8			
		南北線(7)	目黒～赤羽岩淵	21.3			
		有楽町線(8)	和光市～新木場	28.3			
		千代田線(9)	綾瀬～代々木上原	21.9			
			北綾瀬～綾瀬	2.1			
		半蔵門線(11)	渋谷～有明	16.8			
		副都心線(13)	小竹向原～渋谷	11.9			
		小計		195.0			
	東京都交通局	浅草線(1)	押上～西馬込	18.3	南北線(メ)	目黒～赤羽岩淵	21.3
		三田線(6)	目黒～西馬込	26.5			
		新宿線(10)	新宿～本八幡	23.5			
		大江戸線(12)	都庁～光が丘	40.7			
	小計			109.0			
	埼玉高速鉄道(株)	埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6	南北線(メ)	目黒～赤羽岩淵	21.3
	小計			14.6	小計		21.3
	東日本旅客鉄道(株)	総武線	品川～両国	11.6	東西線(メ)	中野～西船橋	30.8
		横須賀線	横須賀～鎌倉	11.6	千代田線(メ)	綾瀬～代々木上原	21.9
	小計			5.4	山手線	新木場～大崎	12.2
	東急電鉄(株)	田園都市線	渋谷～二子玉川	9.4	副都心線(メ)	渋谷～和光市	20.2
					半蔵門線(メ)	渋谷～押上	16.8
					南北線(メ)	目黒～赤羽岩淵	21.3
					埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6
					三田線(都)	目黒～西馬込	26.5
		小計		17.0	みなとみらい線	横浜～元町・中華街	4.1
	小田急電鉄(株)				小計		103.5
					千代田線(メ)	代々木上原～北綾瀬	24.0
	東武鉄道(株)				小計		24.0
					日比谷線(メ)	北千住～中目黒	20.3
					有楽町線(メ)	和光市～新木場	28.3
					副都心線(メ)	和光市～渋谷	20.2
					半蔵門線(メ)	渋谷～押上	16.8
		小計			みなとみらい線	横浜～元町・中華街	4.1
	京成電鉄(株)		京成上野～日暮里	1.4	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3
	京浜急行電鉄(株)		品川～東横寺	1.2	浅草線(都)	押上～西馬込	18.3
	芝山鉄道(株)				浅草線(都)	押上～西馬込	18.3
	京王電鉄(株)		新宿～幡ヶ谷	2.7	新宿線(都)	新宿～本八幡	23.5
	小計				小計		96.7
	西武鉄道(株)	西武有楽町線	小竹向原～練馬	2.6	有楽町線(メ)	小竹向原～新木場	20.0
		小計			副都心線(メ)	小竹向原～渋谷	11.9
	東武高尾線(株)		東武高尾線	5.7	東西線(メ)	中野～西船橋	30.8
	東京臨海高速鉄道(株)		りんかい線	12.2	小計		36.0
	計			12.2	小計		30.8
	計			370.8			485.8
横浜	横浜市交通局	ブルーライン	関内～南港	19.7			
		ブルーライン	関内～あざみ野	20.7			
		グリーンライン	日吉～中山	13.0			
	小計			53.4			
	横浜高速鉄道(株)	みなとみらい線	横浜～元町・中華街	4.1	副都心線(メ)	渋谷～和光市	20.2
		小計		4.1	小計		20.2
	相模鉄道(株)				南北線(メ)	目黒～赤羽岩淵	21.3
					有楽町線(メ)	小竹向原～和光市	8.3
					副都心線(メ)	渋谷～小竹向原	11.9
					三田線(都)	目黒～西馬込	26.5
	計				埼玉高速鉄道線	赤羽岩淵～浦和美園	14.6
	小計				小計		62.8
	計			57.5	小計		102.8

- (注) 1. 括弧つき数字は、当該路線の番号(運輸政策審議会・旧都市交通審議会の答申上の路線番号)を示す。
2. 地下鉄への乗り入れ路線については、括弧内に、当該路線の地下鉄事業者名(略称)を示した。
3. (株)OTSは、(株)大阪港トランスポートシステムの略称である。
4. OMIは、大阪市高速電気軌道(株)(大阪メトロ)の略称である。

都市名	企業名	地下鉄営業キロ			地下鉄への乗り入れキロ		
		路線名	区間	営業キロ	路線名	区間	乗り入れキロ
名古屋	名古屋市交通局	東山線(1)	高畑～森が丘	6.0			
		名港線	金山～名古屋港	20.6			
		鶴舞線(3)	上小田井～赤池	20.4			
		名城線	ナゴヤドーム前矢田 ～ナゴヤドーム前矢田	26.4			
		桜通線(6)	大岡通～徳重	19.1			
	小計			93.3	小牧線(名)	上飯田～味鋺	2.3
	名古屋鉄道(株)	上飯田線	平安通～上飯田	0.8	小計		2.3
		小計		3.8	小計		21.2
	計			97.1			21.2
	京都市交通局	烏丸線	国際会館～竹田	13.7			
		東西線	大塚天神川～六地蔵	17.5			
京都	小計			31.2			
	阪急電鉄(株)	京都本線	西院～河原町	3.8			
		小計		3.8			
	京阪電気鉄道(株)	京阪大津線			東西線(市)	御陵～太秦天神川	8.8
		京阪本線	出町柳～七条	4.6			
	近畿日本鉄道(株)	京福線			小計		8.8
	小計			4.6			13.7
	烏丸線				小計		13.7
	小計			39.6			22.5
大阪	大阪市高速電気軌道(株)	御堂筋線(1)	江坂～中百舌鳥	24.5			
		谷町線(2)	大日～八尾南	28.1			
		四つ橋線(3)	西梅田～住之江公園	11.4			
		中央線(4)	夢洲～長田	21.1			
		千日前線(5)	野田阪神～南箕	12.6			
	堺筋線(6)	天神橋筋六丁目 ～天下茶屋	8.5				
	長堀鶴見緑地線(7)	大門～門真南	15.0				
	今里筋線(8)	升高野～今里	11.9				
	小計			133.1			
	(株)OTS	中央線(4)	大阪港～コスモスクエア	2.4			
神戸	北大阪急行電鉄(株)				御堂筋線(OM)	江坂～中百舌鳥	24.5
	阪急電鉄(株)	阪神なんば線	西九条～大阪難波	3.8	堺筋線(OM)	天神橋筋六丁目～天下茶屋	8.5
	近畿日本鉄道(株)	奈良線	難波～上本町六丁目	2.0	中央線(東)	コスモスクエア～長田	17.9
	京阪電気鉄道(株)	京阪線	淀屋橋～天満橋	1.3	阪神なんば線	西九条～大阪難波	3.8
	関西高速鉄道(株)	中之島線	天満橋～中之島	3.0			
	JR東西線	京橋～尼崎	12.6				
	西日本旅客鉄道(株)				JR東西線	京橋～尼崎	12.6
	小計			25.1	小計		67.3
	計			158.2			67.3
	神戸市交通局	西神線(1)	新長田～名谷	5.7			
		西神延伸線(3)	名谷～西神中央	9.4			
	山手線(2)	新長田～新神戸	7.6				
	北神線	新神戸～谷上	7.5				
	海岸線	新長田～三宮・花時計前	7.9				
	小計			38.1	小計		
	阪神電気鉄道(株)	本線	岩屋～元町	3.2	神戸高速(株)東西線	元町～西代	5.0
		小計		3.2	小計		5.0
神戸	神戸高速鉄道(株)	南北線	湊川～新開地	0.4			
		東西線	西代～高速神戸 高速神戸～三宮	3.5 2.2			
	小計			7.6			
	山陽電気鉄道(株)				神戸高速(株)	西代～神戸元町	5.7
					東西線	高速神戸～元町	1.5
	神戸電鉄(株)				神戸高速(株)	湊川～新開地	0.4
					南北線	神戸高速(株)	2.8
	阪急電鉄(株)				神戸高速(株)	新開地～三宮	
					東西線		
	北神急行電鉄(株)				小計		10.4
					小計		15.4
広島	広島高速交通(株)				広島新交通1号線	本通～県庁前	0.3
		小計			小計		
	福岡市交通局	空港線(1)	延良～福岡空港	13.1			
		箱崎線(2)	中洲川端～貝塚	4.7			
		七隈線(3)	根本～博多	13.6			
		小計		31.4			
	九州旅客鉄道(株)				空港線(市)	延良～福岡空港	13.1
		小計		31.4			13.1
	総計			880.5			647.6

三大都市圏内交通機関別旅客輸送人員の推移



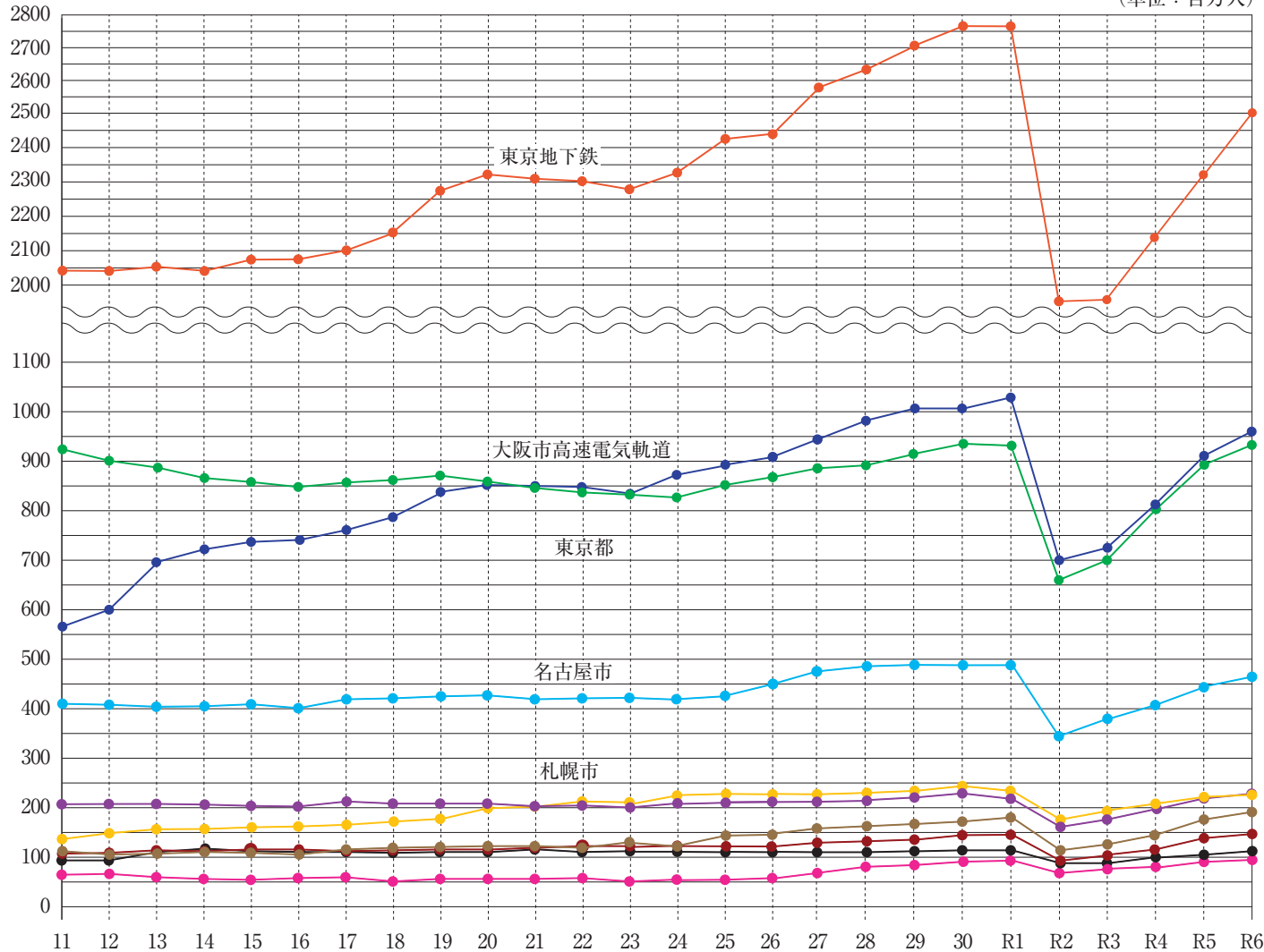
資料：2022（令和4）年度版「都市・地域交通年報」（一財）運輸総合研究所

（注）

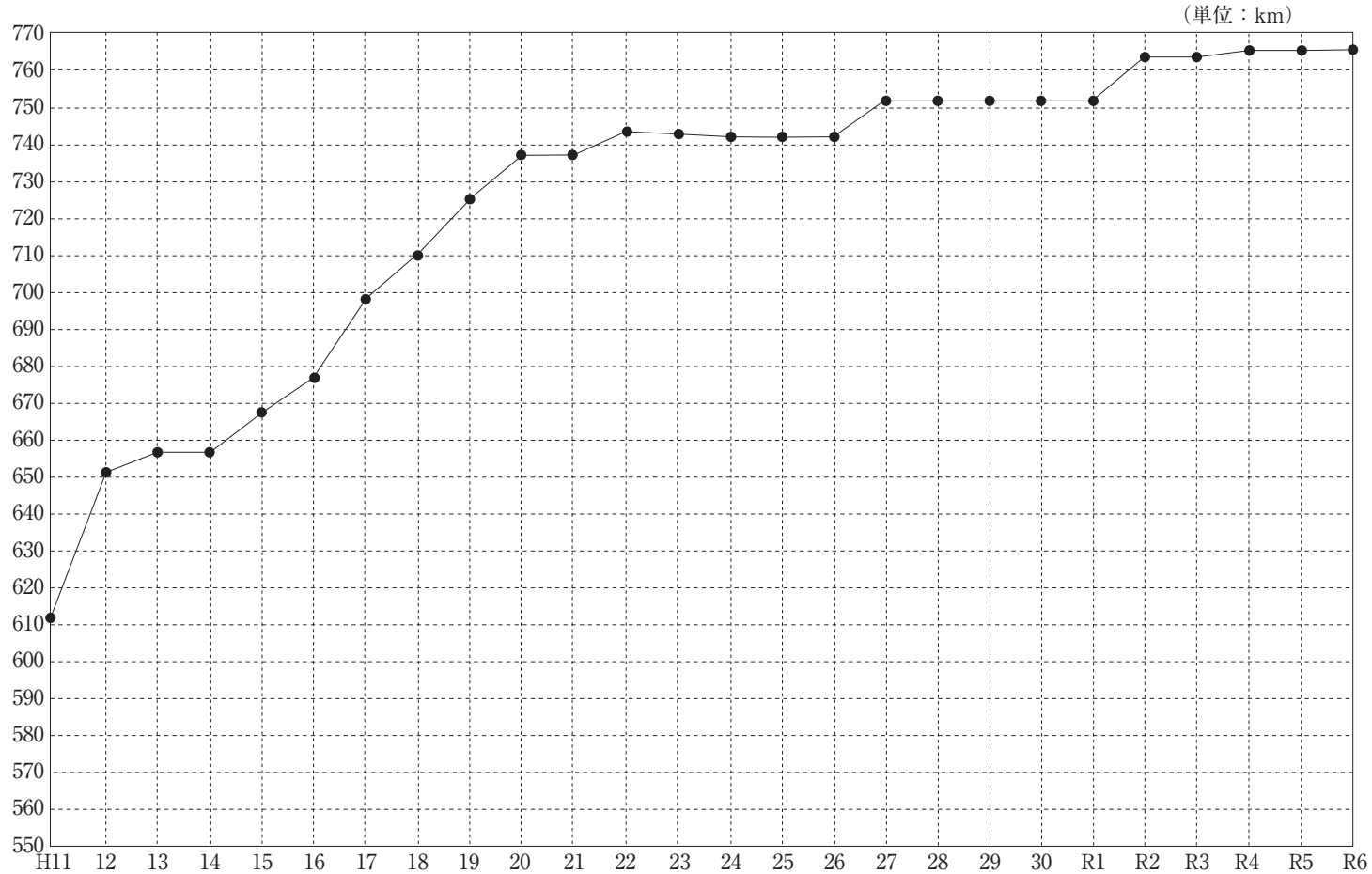
1. 三大都市圏とは首都交通圏、中京交通圏及び阪神交通圏をいう。
2. バスについては、H27度から国土交通省公表の自動車輸送統計年報（営業用乗合バス）より集計することに変更されたため、「バス」「合計」はH26年度までと連続しない。

東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別事業者別輸送人員の推移

(単位：百万人)



東京地下鉄・大阪市高速電気軌道・8都市公営地下鉄年度別営業キロの推移



合計 769.1

営業キロ (単位：km)

東京地下鉄	195.0
東京都	109.0
大阪市高速電気軌道 (南港ポートタウン線を含む)	141.0
名古屋市	93.3
横浜市	53.4
札幌市	48.0
福岡市	31.4
京都市	31.2
神戸市	38.1
仙台市	28.7

地下鉄事業者一日当たり路線別平均輸送人員の推移
(令和2年度～令和6年度)

大手民鉄事業者一日当たり平均輸送人員の推移
(令和2年度～令和6年度)

(令和7年4月1日現在)										
地下鉄事業者	路線名	令和2年度 (2020) (B)千人	令和3年度 (2021) (C)千人	伸び率(%) (C/B×100- 100)	令和4年度 (2022) (D)千人	伸び率(%) (D/C× 100-100)	令和5年度 (2023) (E)千人	伸び率(%) (E/D× 100-100)	令和6年度 (2024) (F)千人	伸び率(%) (F/D× 100-100)
東京メトロ	銀座線	668	696	4.2	822	18.1	930	33.6	987	6.1
	丸ノ内線	913	964	5.6	1,104	14.5	1,220	26.6	1,260	3.3
	日比谷線	815	851	4.4	974	14.5	1,074	26.2	1,134	5.6
	東西線	998	1,038	4.0	1,158	11.6	1,250	20.4	1,304	4.3
	千代田線	902	925	2.5	1,038	12.2	1,130	22.2	1,176	4.1
	有楽町線	789	826	4.7	932	12.8	1,006	21.8	1,046	4.0
	副都心線	400	431	7.7	487	13.0	527	22.3	556	5.5
	半蔵門線	685	733	7.0	849	15.8	926	26.3	973	5.1
	南北線	373	392	5.1	448	14.3	491	25.3	518	5.5
	東京メトロ(一日平均)	4,985	5,216	4.6	5,950	14.1	6,516	24.9	6,838	4.9
東京都	浅草線	505	522	3.4	600	14.9	683	30.8	729	6.7
	三田線	459	483	523%	548	13.5	607	25.7	646	6.4
	新宿線	555	584	5.2	648	11.0	704	20.5	740	5.1
	大江戸線	654	677	3.5	750	10.8	836	23.5	889	6.3
横浜市	都営(一日平均)	1,918	1,997	4.1	2,242	12.3	2,488	24.6	2,641	6.1
	ブルーライン	399	438	9.8	479	9.4	499	13.9	512	2.6
	グリーンライン	105	116	10.5	127	9.5	132	13.8	136	3.0
	横浜市営(一日平均)	484	533	10.1	563	5.6	608	14.1	625	2.8
首都圏	関東(一日平均)	7,387	7,746	4.9	8,755	13.0	9,612	24.1	10,104	15.4
大阪メトロ	御堂筋線	849	900	6.0	1,062	18.0	1,177	30.8	1,238	5.2
	谷町線	393	415	5.6	463	11.6	494	19.0	516	4.5
	四つ橋線	199	205	3.0	228	11.2	247	20.5	261	5.7
	中央線	249	259	4.0	290	12.0	318	22.8	337	6.0
	千日前線	147	155	5.4	174	12.3	192	23.9	203	5.7
	堺筋線	242	255	5.4	288	12.9	319	25.1	336	5.3
	長堀鶴見緑地線	131	140	6.9	161	15.0	172	22.9	178	3.5
	今里筋線	54	57	5.6	63	10.5	66	15.8	68	3.0
	南港まいてタウン線	49	54	10.2	61	13.0	69	27.8	70	1.4
		大阪メトロ(一日平均)	1,822	1,925	5.7	2,216	15.1	2,435	26.5	2,562
京都市	烏丸線	163	204	25.2	246	20.6	277	35.8	289	4.3
	西線	104	132	26.9	150	13.6	161	22.0	166	3.1
	京都市営(一日平均)	267	295	10.5	348	18.0	385	30.5	402	4.4
神戸市	北神・山手・西神・西神延伸線	222	246	10.8	270	9.8	284	15.4	289	7.0
	海岸線	42	43	2.4	45	4.7	48	11.6	52	15.6
	神戸市営(一日平均)	264	262	-0.8	285	8.8	283	8.0	308	8.1
	関西(一日平均)	2,353	2,527	7.4	2,849	12.7	3,103	22.8	3,272	14.8
近畿圏	東山線	420	466	11.0	518	11.2	550	18.0	570	3.6
名古屋市	名城線・名港線	439	482	9.8	535	11.0	568	17.8	587	3.3
	鶴舞線	219	241	10.0	260	7.9	272	12.9	278	2.2
	桜通線	211	228	8.1	250	9.6	264	15.8	272	3.0
	上飯田線	26	28	7.7	30	7.1	31	10.7	33	6.5
	名古屋市営(一日平均)	949	1,041	9.7	1,148	10.3	1,219	17.1	1,263	3.6
	南北線	159	170	6.9	201	18.2	219	28.8	233	6.4
札幌市	東西線	182	195	7.1	221	13.3	237	21.5	249	5.1
	東豊線	105	113	7.6	131	15.9	141	24.8	148	5.0
	札幌市営(一日平均)	446	479	7.4	552	15.2	597	24.6	630	5.5
	仙台市	南北線	151	160	6.0	174	8.7	187	16.9	194
仙台市	東西線	59	66	11.9	75	13.6	83	25.8	87	4.8
	仙台市営(一日平均)	191	205	7.3	227	10.7	246	20.0	255	3.7
	福岡市	空港線	229	254	10.9	307	20.9	321	26.4	341
福岡市	箱崎線	27	28	3.7	32	14.3	35	25.0	38	8.6
	七隈線	62	70	12.9	80	14.3	126	80.0	145	15.1
	福岡市営(一日平均)	304	336	10.5	399	18.8	482	43.5	524	8.7
地下鉄	全国(一日平均)	11,630	12,334	6.1	13,930	12.9	15,259	23.7	16,048	15.2

※1 出典元：日本地下鉄協会「地下鉄事業の現状」

※2 路線別の平均輸送人員には乗り継ぎ分を含む

※3 各項目の合計値は必ずしも一致しない

民営事業者	路線名	令和2年度 (2020) (B)千人	令和3年度 (2021) (C)千人	伸び率(%) (C/B×100- 100)	令和4年度 (2022) (D)千人	伸び率(%) (D/C×100- 100)	令和5年度 (2023) (E)千人	伸び率(%) (E/D×100- 100)	令和6年度 (2024) (F)千人	伸び率(%) (F/E×100- 100)
東武鉄道		1,855	2,014	8.6	2,187	8.6	2,293	13.9	2,416	10.4
西武鉄道		1,294	1,392	7.6	1,532	10.0	1,610	15.7	1,705	11.3
京成電鉄		572	617	8.0	688	11.5	752	21.8	810	17.7
京王電鉄		1,235	1,373	11.2	1,518	10.5	1,599	16.5	1,671	10.1
小田急電鉄		1,439	1,591	10.5	1,777	11.7	1,873	17.8	1,969	10.8
東急電鉄		2,208	2,458	11.3	2,709	10.2	2,883	17.3	3,053	12.7
京浜急行電鉄		918	987	7.6	1,108	12.3	1,187	20.2	1,256	13.4
相模鉄道		479	504	5.3	545	8.2	589	16.7	624	14.4
首都圏		9,998	10,936	9.4	12,065	10.3	12,786	16.5	13,504	11.9
近畿日本鉄道		1,168	1,249	6.9	1,374	10.0	1,430	14.5	1,482	7.9
南海電鉄		488	501	2.6	558	11.4	595	18.8	628	12.5
京阪電鉄		570	601	5.4	667	11.1	713	18.7	750	12.4
阪急電鉄		1,329	1,399	5.3	1,566	11.9	1,638	17.1	1,715	9.5
阪神電鉄		503	532	5.8	599	12.6	644	21.1	683	14.0
近畿圏		4,058	4,282	5.5	4,764	11.3	5,020	17.2	5,258	10.4
名古屋鉄道		812	862	6.3	934	8.3	988	14.6	1,033	10.6
西日本鉄道		217	231	6.4	253	9.9	271	17.7	290	14.4
大手15社総計	東京メトロを除く	15,085	16,311	8.1	18,017	10.5	19,065	16.5	20,085	11.5

※出典元：日本民営鉄道協会HP(大手民鉄16社 2025年3月期 鉄軌道事業旅客輸送実績)資料より抜粋掲載

案内図



発行 令和7年10月

一般社団法人 日本地下鉄協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-10-12
内神田すいすいビル 9階
TEL.03-5577-5182 (代) FAX.03-5577-5187
E-mail : subway@jametro.or.jp
URL : <https://www.jametro.or.jp>



東京地下鉄株式会社



大阪市高速電気軌道株式会社



東京地下鉄株式会社



名古屋市交通局



さいたま市交通局



神戸市交通局



神戸市交通局



東京地下鉄株式会社



東京地下鉄株式会社



福岡市交通局



仙台市交通局



東日本旅客鉄道株式会社



東急電鉄株式会社



小田急電鉄株式会社



阪急電鉄株式会社



東武鉄道株式会社



京成電鉄株式会社



阪神電気鉄道株式会社



京浜東北線



近畿日本鉄道株式会社



京阪電気鉄道株式会社



名古屋鉄道株式会社



京王電鉄株式会社



西武鉄道株式会社



山陽電気鉄道株式会社



北大阪急行電鉄株式会社



神戸電鉄株式会社



北総鉄道株式会社



埼玉高速鉄道株式会社



広島高速交通株式会社



東葉高速鉄道株式会社



横浜高速鉄道株式会社

安全・快適な鉄道を利用しよう

鉄道旅客は、三酸化炭素(CO₂)の排出量が自家用乗用車の約13%、バスの約27%と非常に少なく、人にやさしく、環境にやさしい乗り物です。

日本の地下鉄は、1927年（昭和2年）に開業。今年で98周年。

一般社団法人 日本地下鉄協会

